

旅々日記には記せなかつた。

総集編 1

—子供だらけの街編—



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

長期間 旅の日々を
送る上で絶対的な嗜好品は
何か？ですか？

ふふっ♪愚問ですね
立ち寄り先で気に入った
おちんちんを象った張り型
一択に決まっています♥

問題は 少々
増えすぎちゃう
ところですかね







この作品には一部性的な表現が含まれます。
児童および青少年の閲覧は法に反しますので十分ご注意ください。

もう随分と それなりに
永い間旅を続けていますから
それはもう いろんな土地を
見聞きしてきて

もう二度と御免だなんて
町もあれば

一期一会の決めごとを外して
再訪してしまう町もあるのです

実は今
この瞬間にも

その町に飛び抜けて何度も
訪問してしまってる理由
…てすか？

そうした お気に入りの町に
半年ぶり三回目の訪問に
向かっています

それはその町を最初に
訪れたたときのことから
お話したほうが

早いかもしれません。

「子供だらけの町」
Children's Town

…え？

老人だらけの町
…って聞いて
来たんですけど

ああ それは十数年も
前の話でしてね

この数年で
若い夫婦の
移住が進んで

ご覧の通り

ベビーブームの
最中なのです

…それは残ね…
あ…いえ？

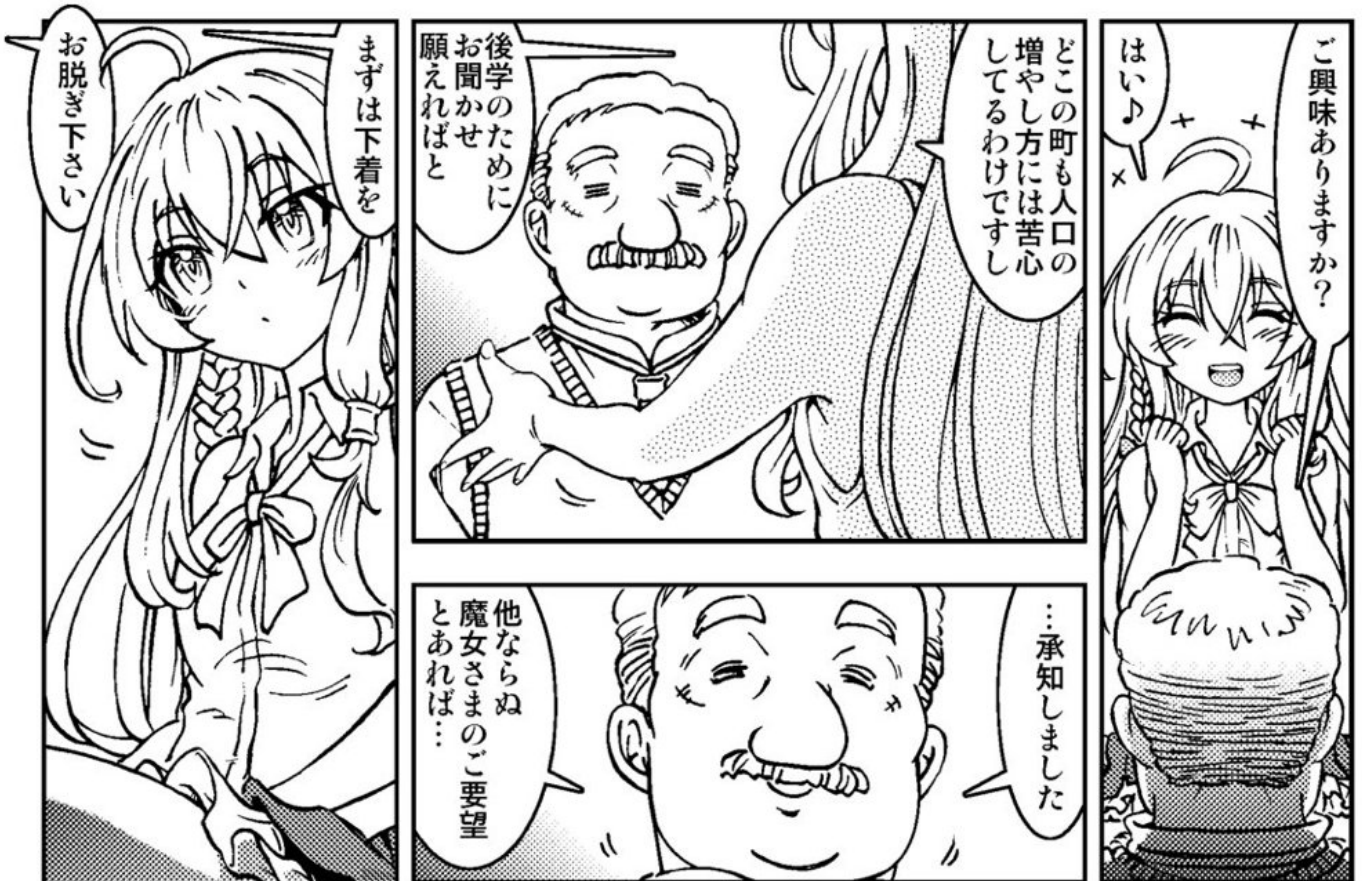
ちよつと驚いたと
いうか…昔読んだ本に
「住人全てが老人の
不思議な町」

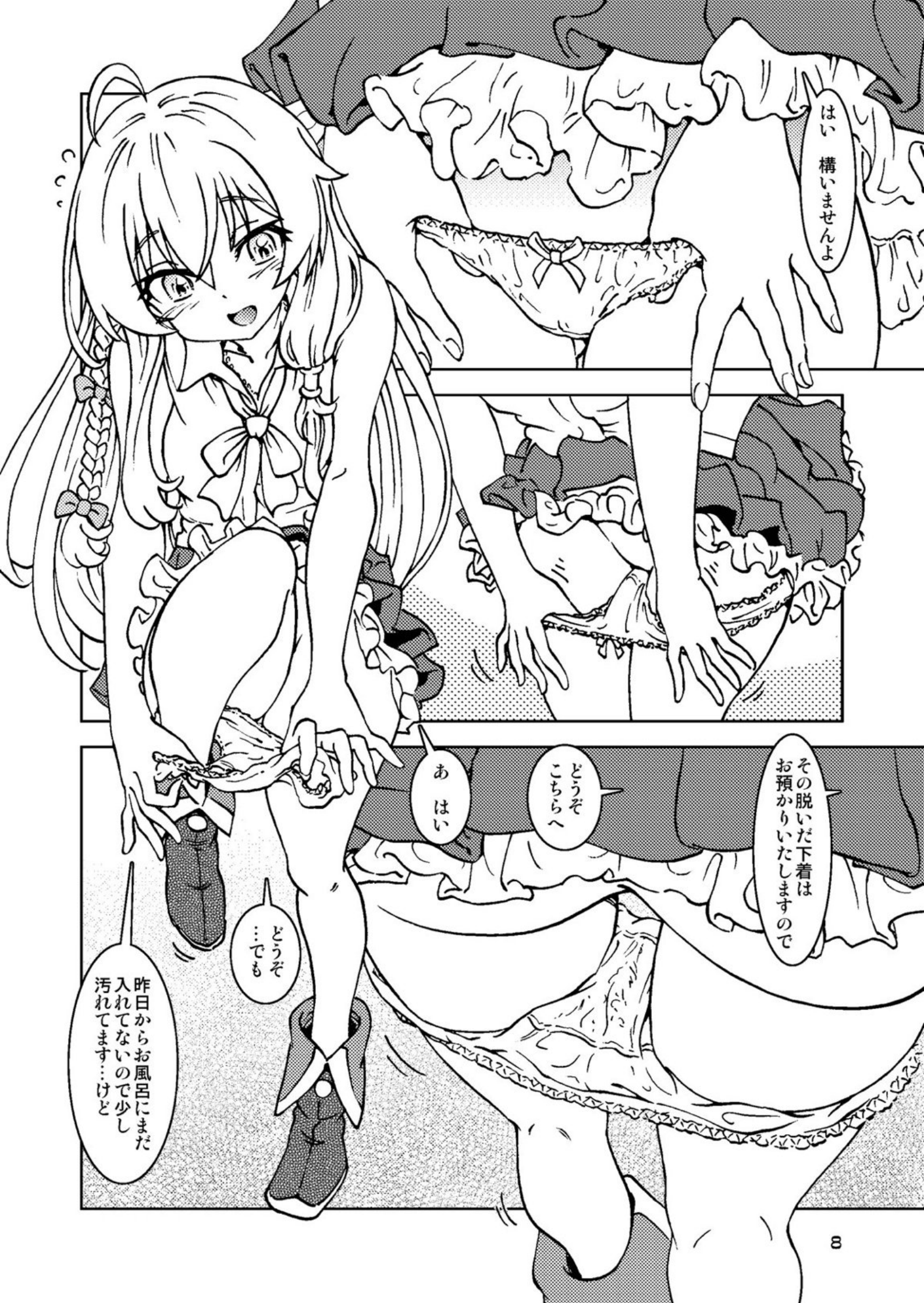
っていう風に書いて
あったもので…

はい
確かに

かつてはその通り
移住者が居ても全て
高齢だったために

町の労働力も基盤も
魔法に全て頼り切りで
賄っていました





はい構いませんよ

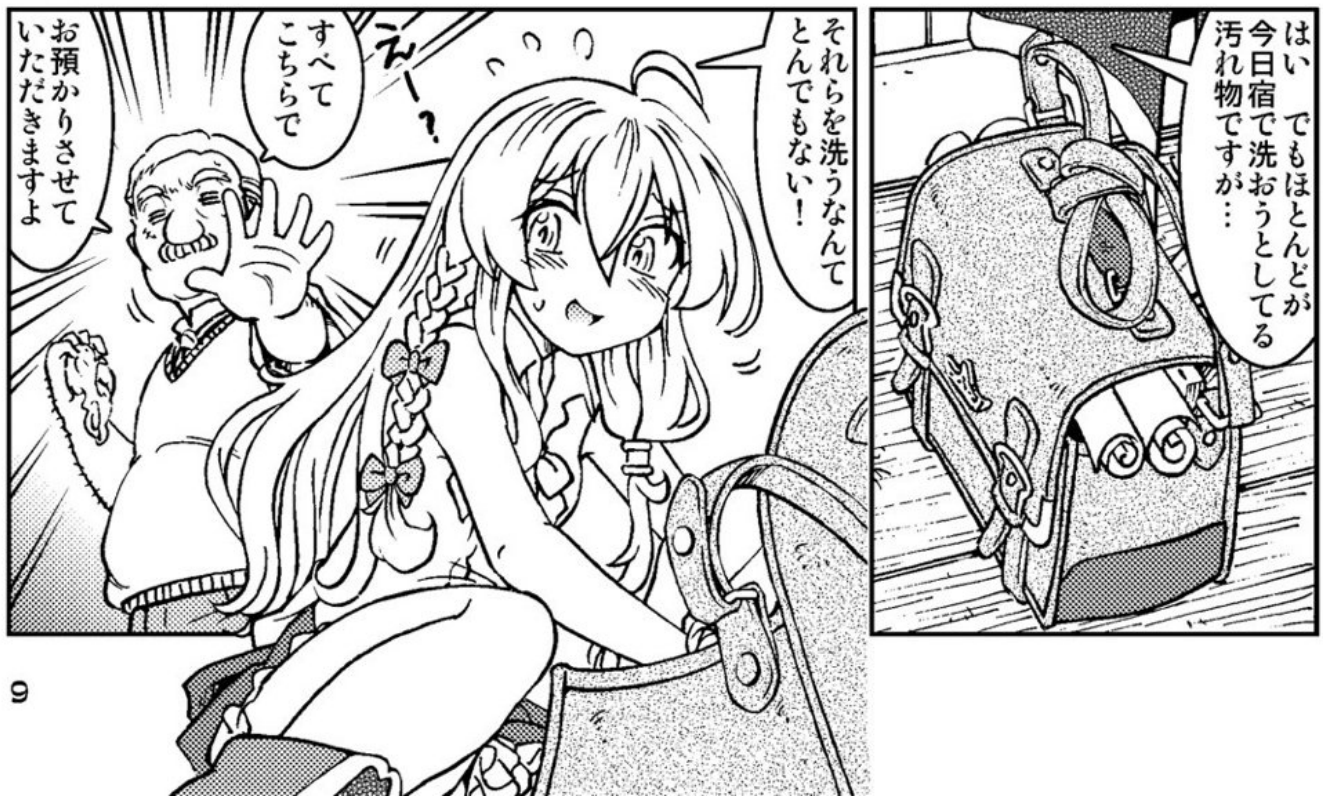
その脱いだ下着は
お預かりいたしますので

どうぞ
こちらへ

あはい

どうぞ
…でも

昨日からお風呂にまだ
入れてないので少し
汚れてます…けど



—と いうふう
に 催眠術を駆使して

町の外から若い男女を
勧誘し移住してもらい

なるほど
なるほど

確かに人道的には
どうかと思えますけど

魔法では無いから
痕跡も残らないし
なんとかなれば

適当に夫婦にして
子供を次々に産んで
貰っているのです

ガサッ

我ながら胡散臭い
手口とは思いますが
効果は絶大です

毛...

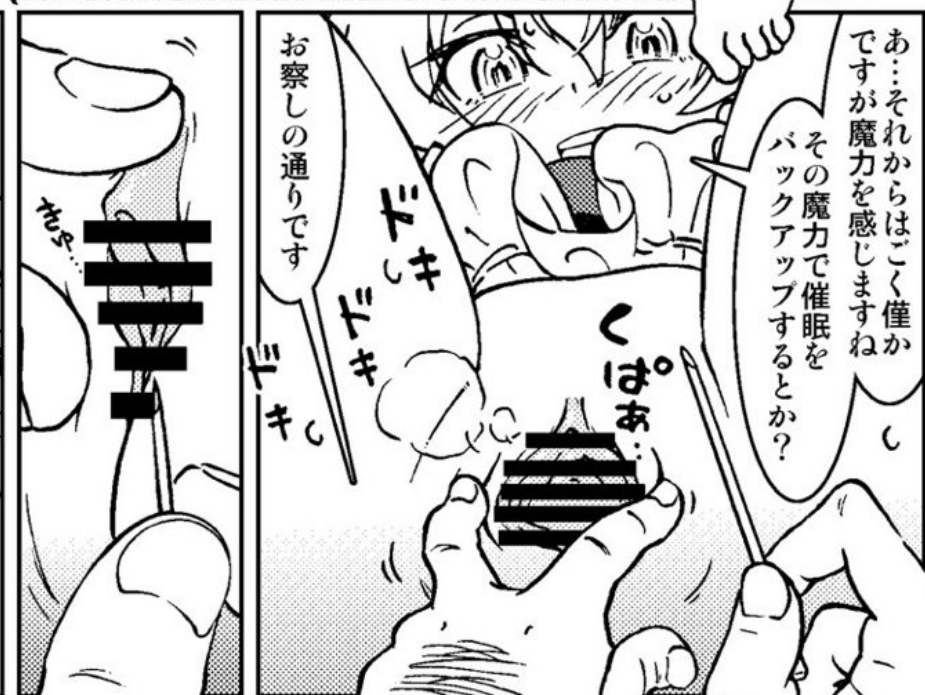
術者が息絶えても
催眠が解けるわけでは
無いけど...

この催眠自体に
穴は無いんですか？
例えば私のような
高位の魔女には
まず効き目は
ありませんし

...まあ無い
わけでは
ないので

一応だめ押しに
施術を重ねたり
もしています

スカートを捲って
股を開いてこちらに
腰を突き出して
いただけますか？

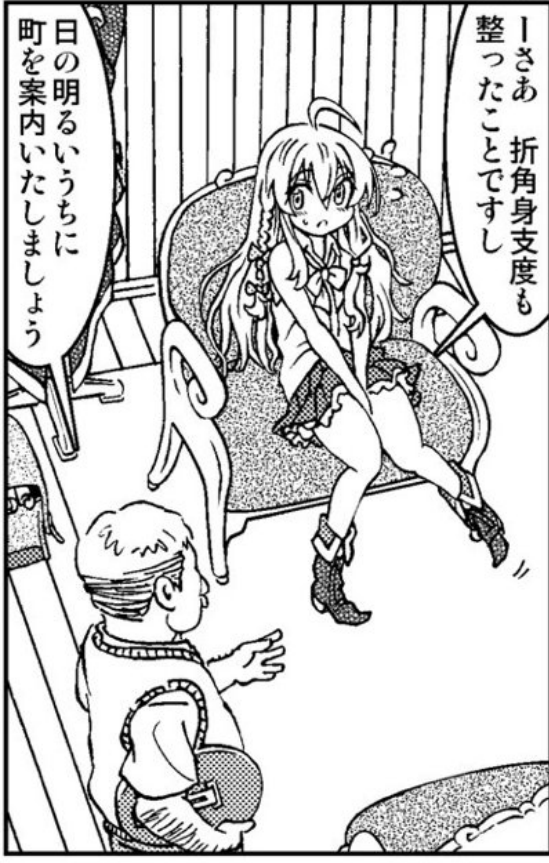


これで私もー



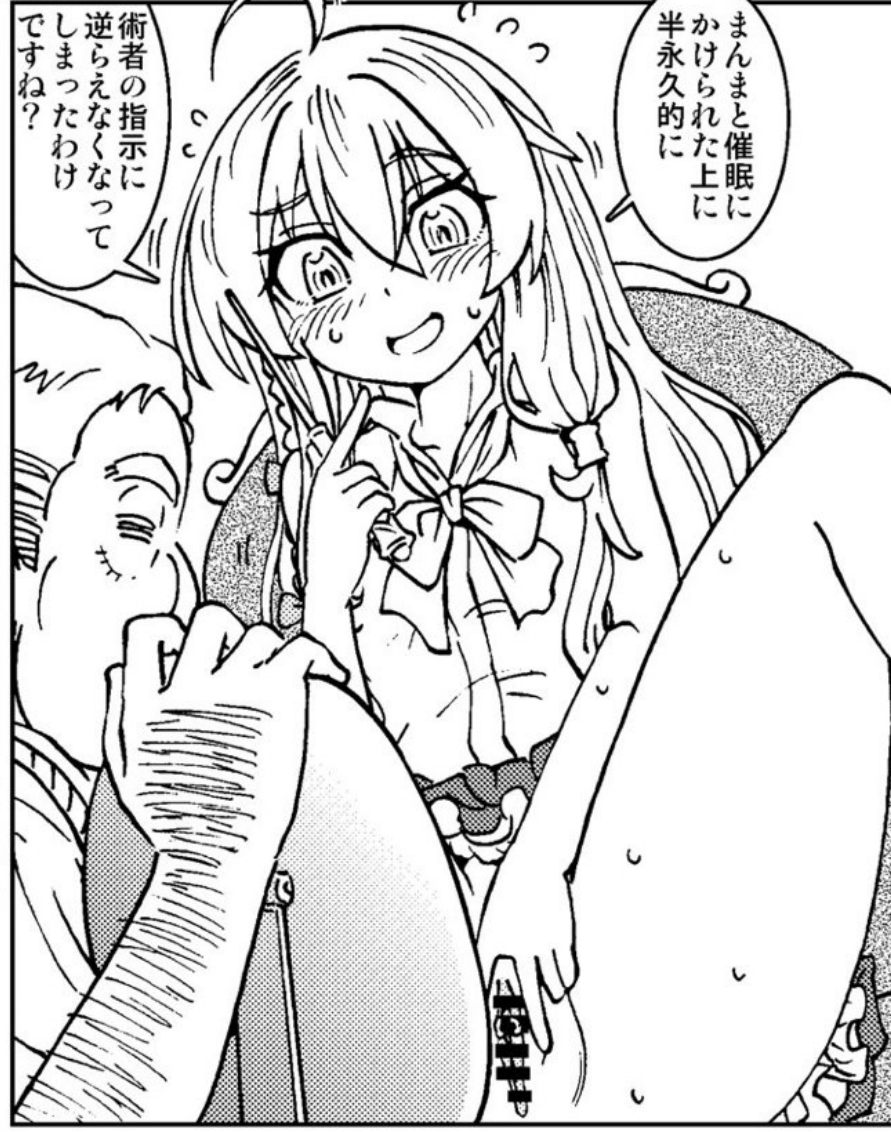
キラッ...

えへっ♪
魔法で施術の間
痛くないように
ちよつとズル
しちゃいました♥



日の明るいうちに
町を案内いたしましょう

ーさあ 折角身支度も
整ったことだし



まんまと催眠に
かけられた上に
半永久的に

術者の指示に
逆らえなくなつて
しまつたわけ
ですね？



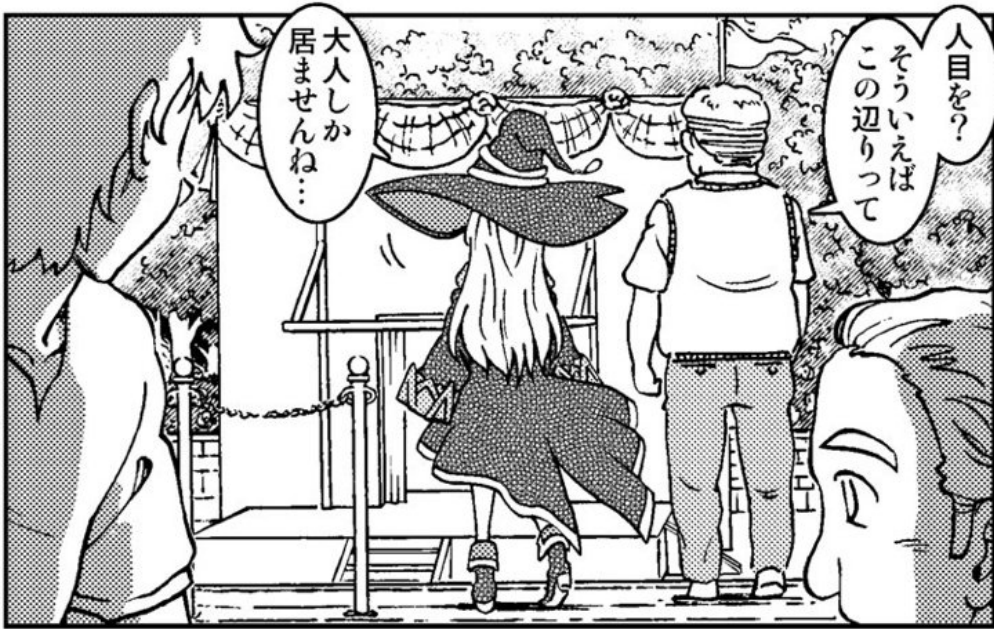
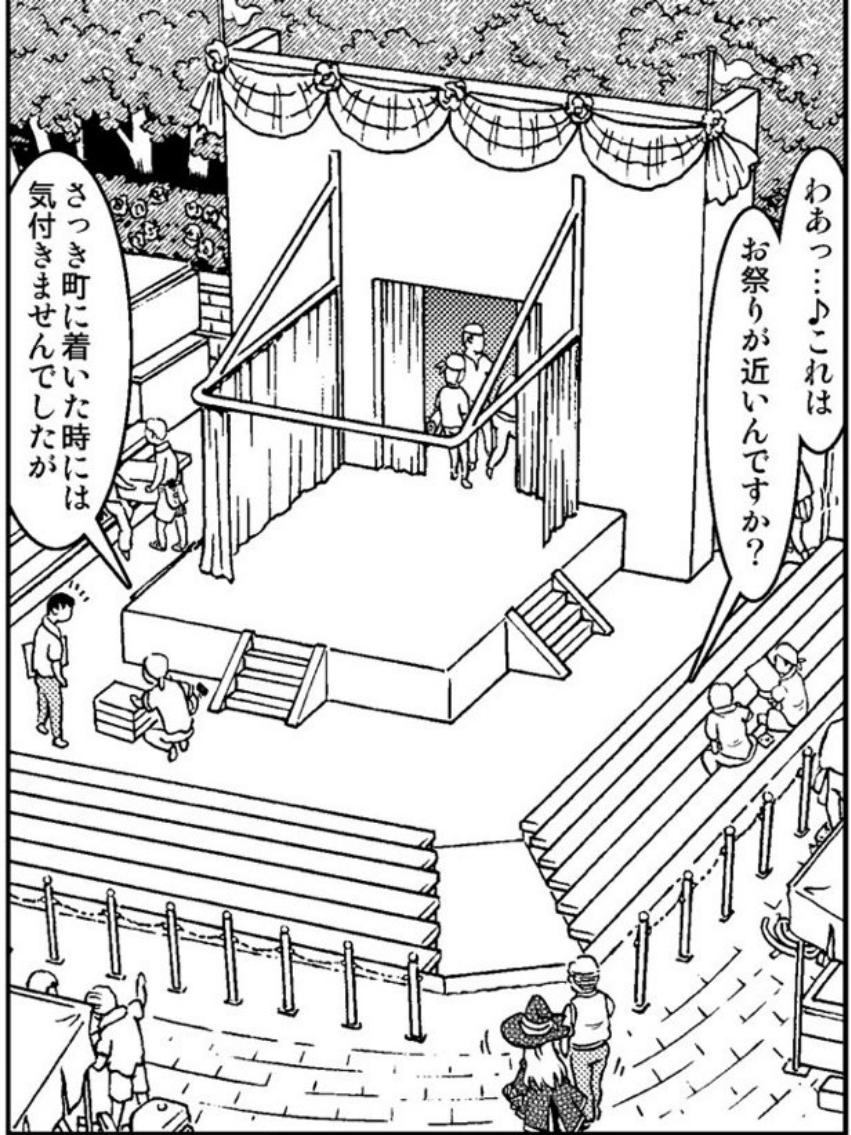
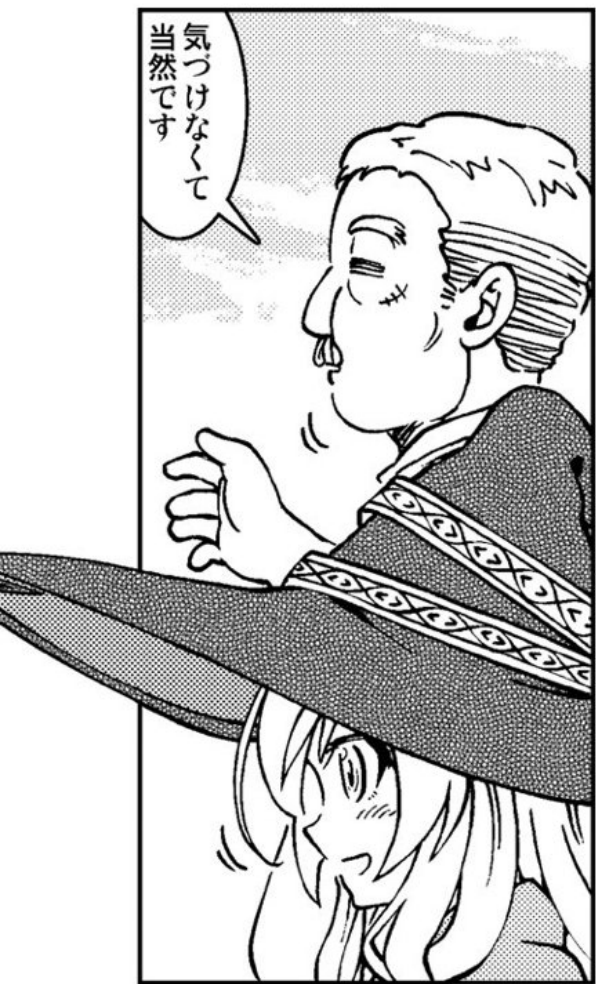
お気に入りの場所が
みつかるよといのですが

そう広くはない町ですが
色んなスポットが
ありますので



私に対してだけじゃ
ありませんよ？

いえいえ逆らえ
なくなつたのは











町民の諸君！
明日からの感謝祭に向けての
精力的な設営や準備の進行
実にご苦労様

町長として既に祭りは
大成功するものと
確信しております

それはそれとして

その作業の手を止めてまで
こんな昼間から集まって
貰ったのは他でも無い

ザッ
ザッ

ザッ



折良くこの町を訪れた
旅の魔女さまが
今回の祭りに彩りを
加えるべく

その肉体を

処女を

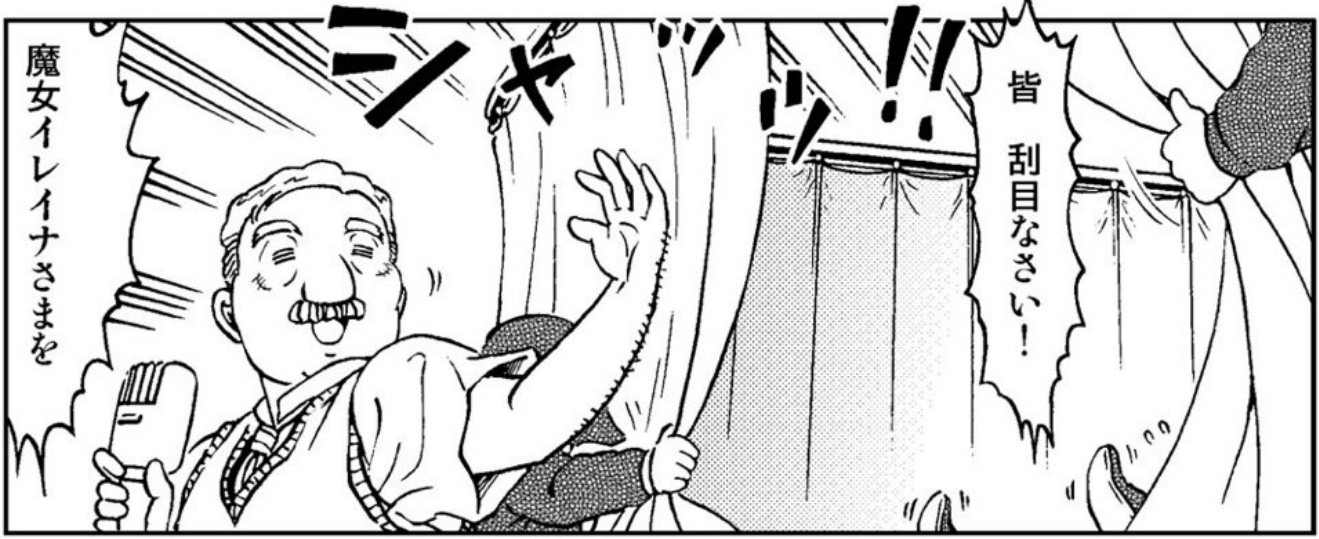
魔女という優越者の
誇りすらも
惜しげも無く
差し出して
頂けるといふのだ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ



皆 刮目なさい！

魔女イレイナさまを

ミギ

あ…皆さんはじめまして

このような体勢からで失礼いたします

私は灰の魔女イレイナ

たまたま立ち寄ったこの町ではありますが

今日これから皆さんに私の処女を奪って頂けるといふことで

大変光栄に思っています♥

すごい…こんなに沢山のひとたちが…

それではこれより

おおお

大抽選会に移ります!

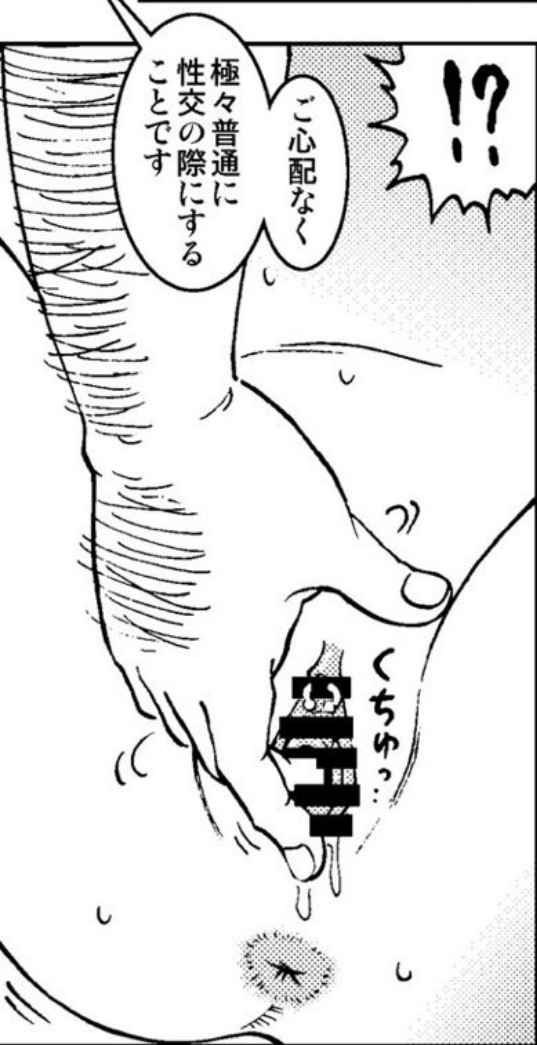
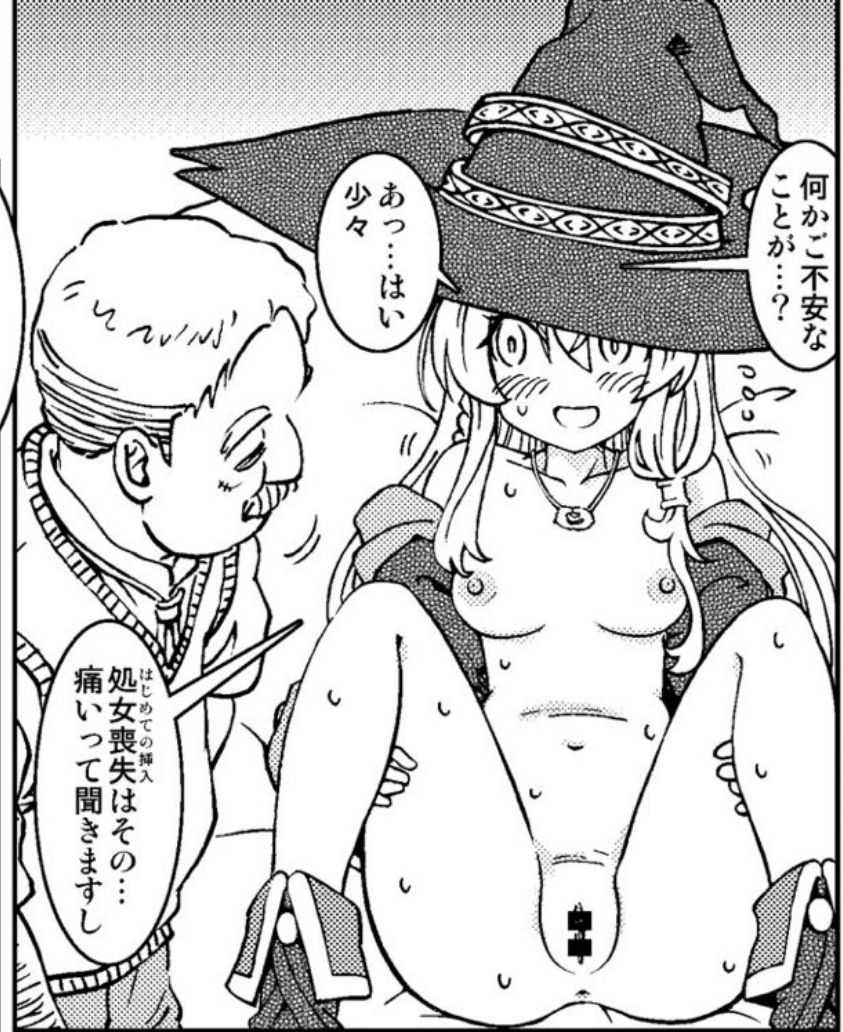
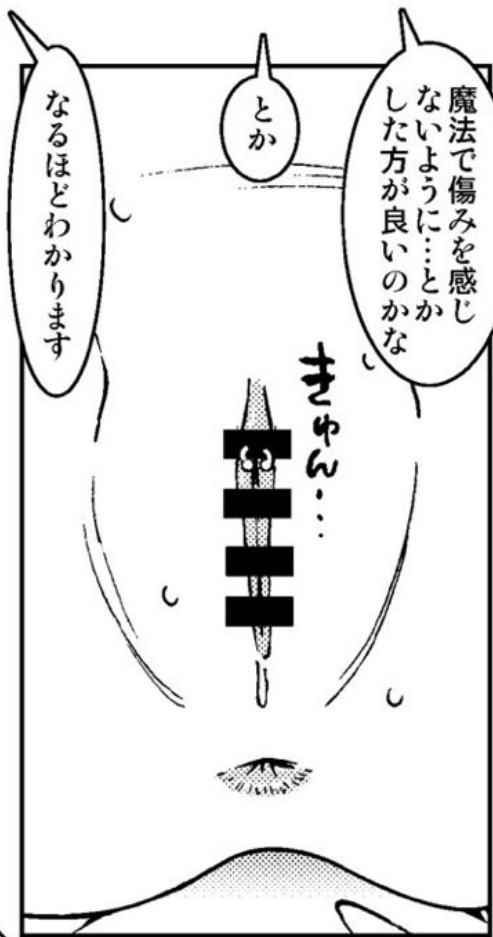
私を犯そうと集まってる…?

ドキ…

ドキ…

ドキ…

ドキ…





身体が勝手に
反応してっ…

ゆ…委ねるも
なにも…っ

身を委ねて
いて下さい

身体力を
抜いて
少しの間私の
することに

あ

じ…自分でもこんな
触り方とかしたこと
…ないのに…

な…何っ
…これっ



好き♥これ…



町長さんの
指先や舌の動きに
ついていく…っっ



魔女さまはあくまでも旅の途中の身でいらつしやるので

今日この町で処女を喪ったからといって町の住人になることはありません

ざわ...

ざわ...

ざわ...

本来ならこの通過儀礼により

一番相性の良い男と結婚していただき

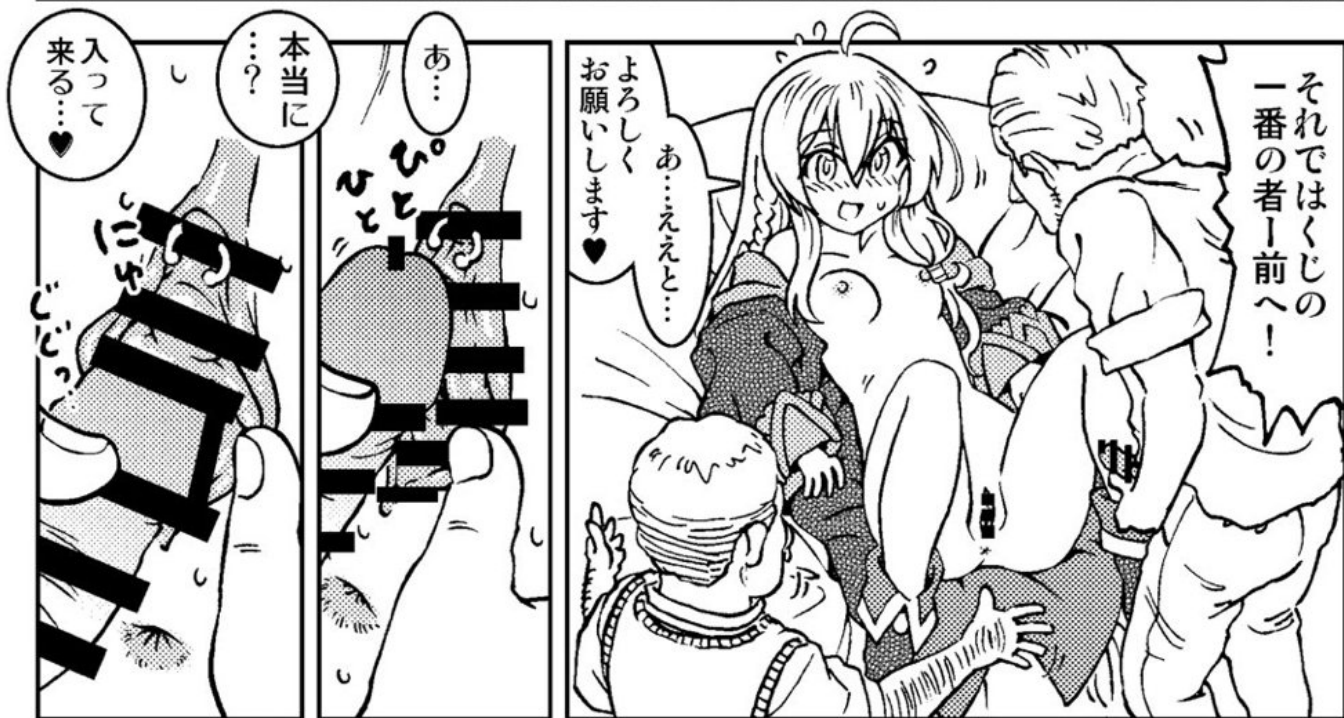
子を産んで貰うのですが



今回はここに居る全員にも催眠により誰が最初だったかの記憶も残しません

ご安心の上心置きなく

処女喪失の日を味わい満喫していつてくださーい!



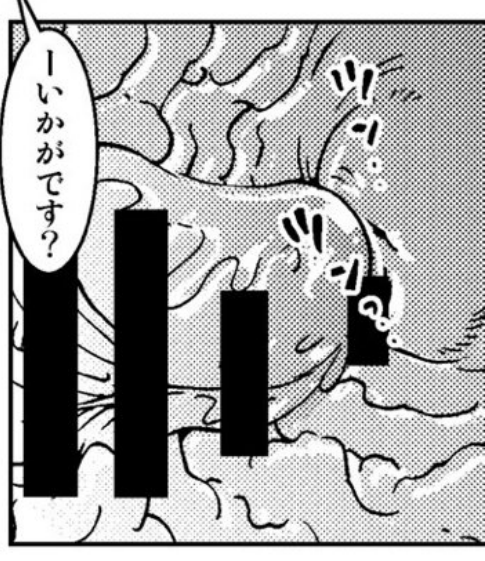
それではくじの一番の者ー前へ!

あ...ええと...よろしくお願ひします♥

あ...

本当に...?

入って来る...♥



突いたり引かれたり
する喜びにも すぐに
お目覚めになるでしょう

脈拍まで
伝わってきて…

これが…おちんちん

…こんな熱くて
私の瞳…埋め
尽くして…?

…おちんちんで
…いかがです?

身体の奥…
触られてる
感じ…

…嫌いじゃない
…です

…突いたり…
引かれたり?

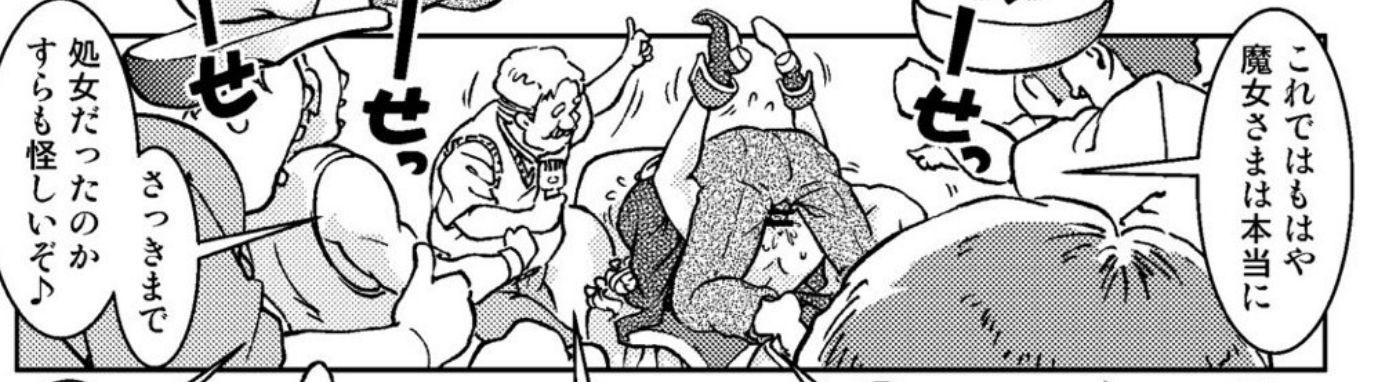


魔外射精は嫌だ
だというのか?

おおっとお?
魔女さまから男の腰を羽交締めして逃がさない構えだ!

「初めて」から精子を
膣奥に浴びたいと?

出ーせ
出ーせ
出ーせ
出ーせ



処女だったのかすらも怪しいぞ♪

これでまあはや魔女さまは本当に

さっきまで



それなら今回くじでたまたま勝っただけの

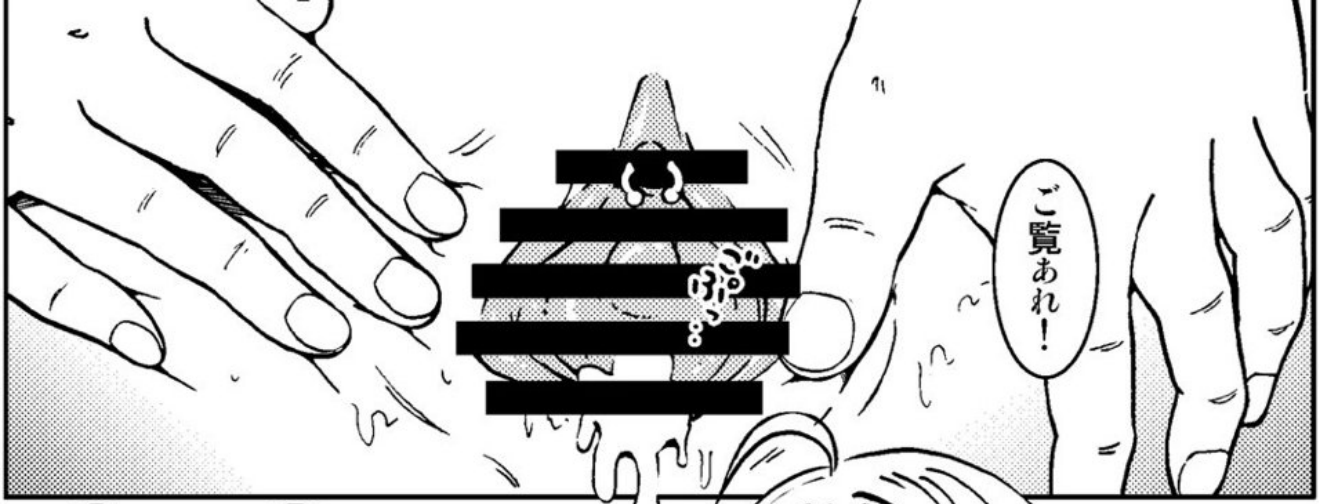
「彼女の初めての男A」君も応えてあげないとだ

通りすがりちんこがラッキー生挿入からの

処女子宮口に無責任膣奥出しして

理不尽精子の威力を叩きつけてやれ♪

グ
出ーせ
出ーせ
出ーせ



でも…さすがに

このような白昼の
往來でひたすら
多くの人の前で
股を開き続けて

いかに気持ち良い
からといって

次々に膣出しをされて
行くのを見られ続けると
いうのは…

うら若き美しい
乙女としては

いかな
ものでしょう？



魔女として 人として
大変優れた私であれば当然

性行為においても
並外れた適性を
誇るはず

あ
ん

ん

ん
ん

それを衆目に晒して
恥ずかしいなどという
わけがありません♥

いっそのこのお祭りに
参加した皆さんの
一番の目的が

はあ

はあ

はあ

あ

あ

あ

はあ

ん

この私と屋外で性交うことに♡

そして私自身も♡

書き換わるくらいのことであって当然では？♡

次々違うおちんちんに生挿入・膣奥出しの精子を浴びる度に♡

男性を…性的なもの全てから逃げて来ていたことを…

おほお♡

後悔の気持ちでいっぱいになっただけです♡

実際に勿体無いことをして来たのだなと

ん♡

おーっ♡

はーっ♡

はーっ♡

私はなんと
愚かだったので
しょう♡

これまでの何処かの
機会でもっと股を
開く決断をするべき
だったのです♡

こうして
この町に滞在した
二日間

のべ三十人を相手に
一通りの一般的な
性行為を体験して

大抵の男の人相手なら
問題無くイケるよう
になりました

さすがは私です♥



それから町長さんと
また何度となくここに
やって来る約束をして



この町を後に次の
旅に向かったの
でした

「これはようこそ
三度我が町に

魔女さまの再訪を一同
お待ちしております



今回もまたお世話になりますね♥

—というか

むしろ町長さんはズルいですよ？

はあ、

こんな良いの持ってる色々上手だったりするのに

はあ、

私の初めての相手を他の人に譲るなんて♥

今回は町の男性

全員とするのが目標なんです♥

それなのに今回の一人目が私で

良いのですか？

お詫びとして初日はこれから一晩じっくり

町長さんのだけを刻みつけさせてもらいますから♥



あっあっ!
これっ!
これええ!♡

あっあっ!
あっあっ!

あっ...
吸い付き

あっ...
吸い付き過ぎて

あ...
頭の中心まで...

あ...
おまんこになっちゃう♡

はま

あ

はあ

ふっ...

やっぱり私...町長さんのおちんちんが一番好きかも♡

突然十数年前から
人口爆発を起こしてる
子供だらけの町

…ですか

胡散臭さ
炸裂ですね

—とはいえ

魔導士魔法使いが
居ないというなら

多少の罫とか
あっても

調査に大した障害
じゃないでしょ

ばばっと片付けて
報酬頂いちゃい
ましようかね♪

そしたらちよつと
長い休暇を貰おっかな

イレイナさん
を捜しに♪



●訪問2度目での魔女さまインタビュー●

はい。今日は朝から皆さん積極的に、おまんこで三人・肛門で五人に腔内射精していただきます♡

この町に滞在中は極力、屋外では全裸で過ごしたいと思ってるんですけど、町の人たちも慣れて有り難み無くなるのかな？って思うと、日によって時間帯によっては程々に着衣して隠した方がいいのなかって。

あ、当然着衣外出中でも「おちんちん挿れたいです」って声かけしていただければ、すぐに股を開きますのでご安心くださいいね♡



ここに一つの町が
あります

この町は数百年前に
一度大きく栄えた後
永らく廃れ

数十年前に何故か
老人たちが大量に移住
して再び町の規模を
取り戻しました



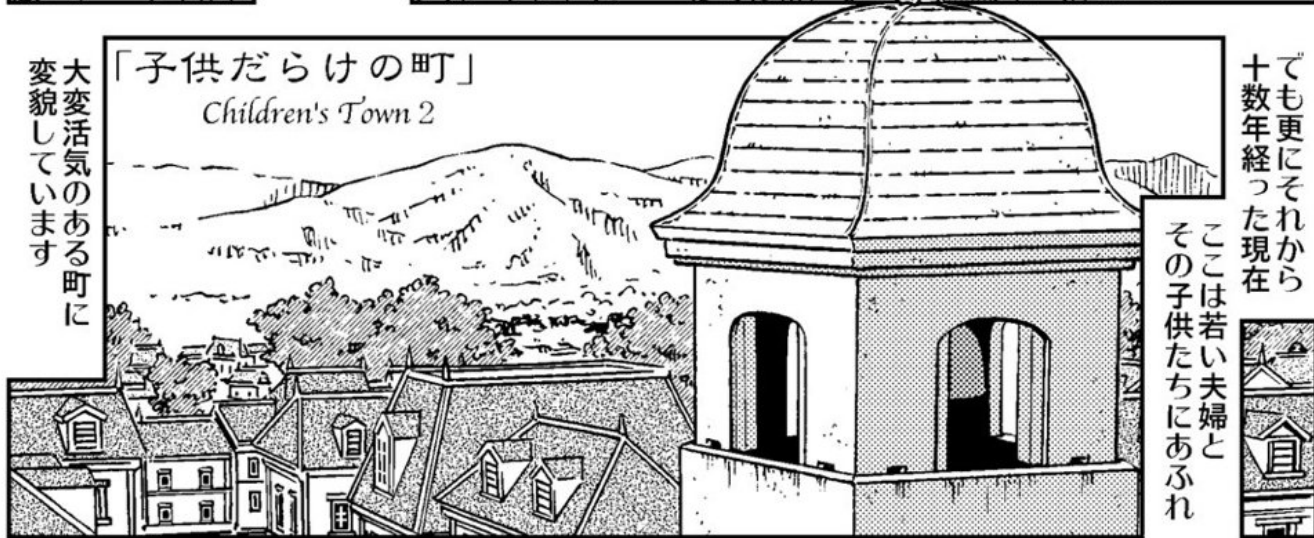
—そう
『ニケの冒険譚』に
紹介されていた
《老人だらけの町》

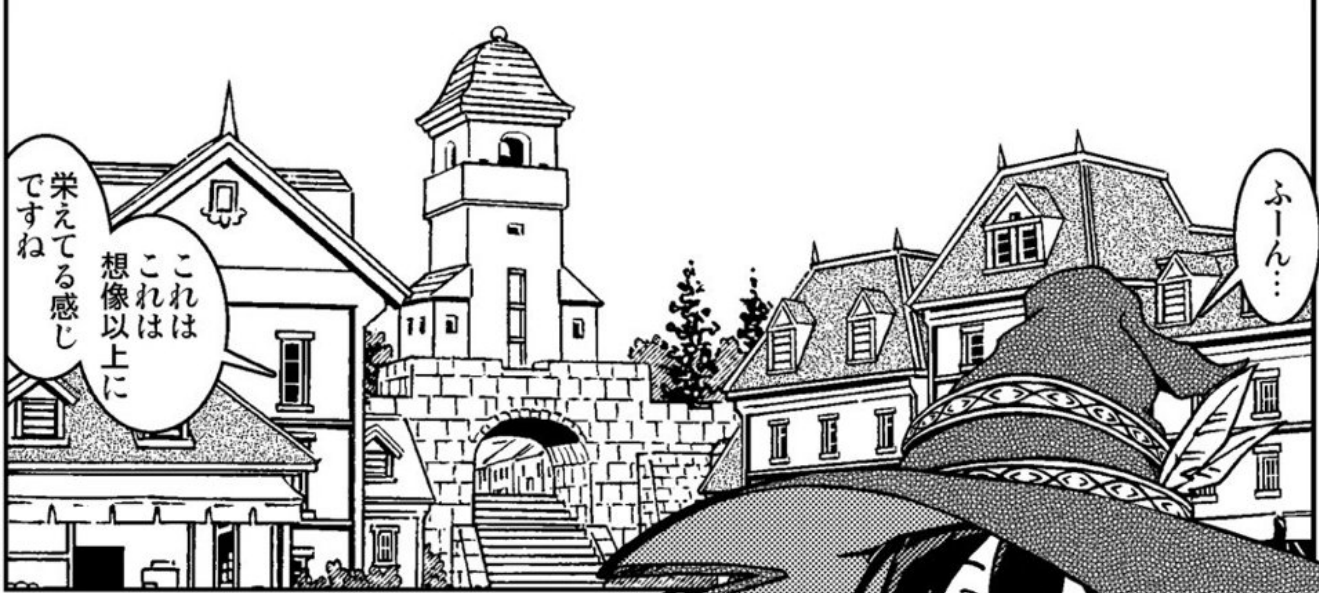
でも更にそれから
十数年経った現在

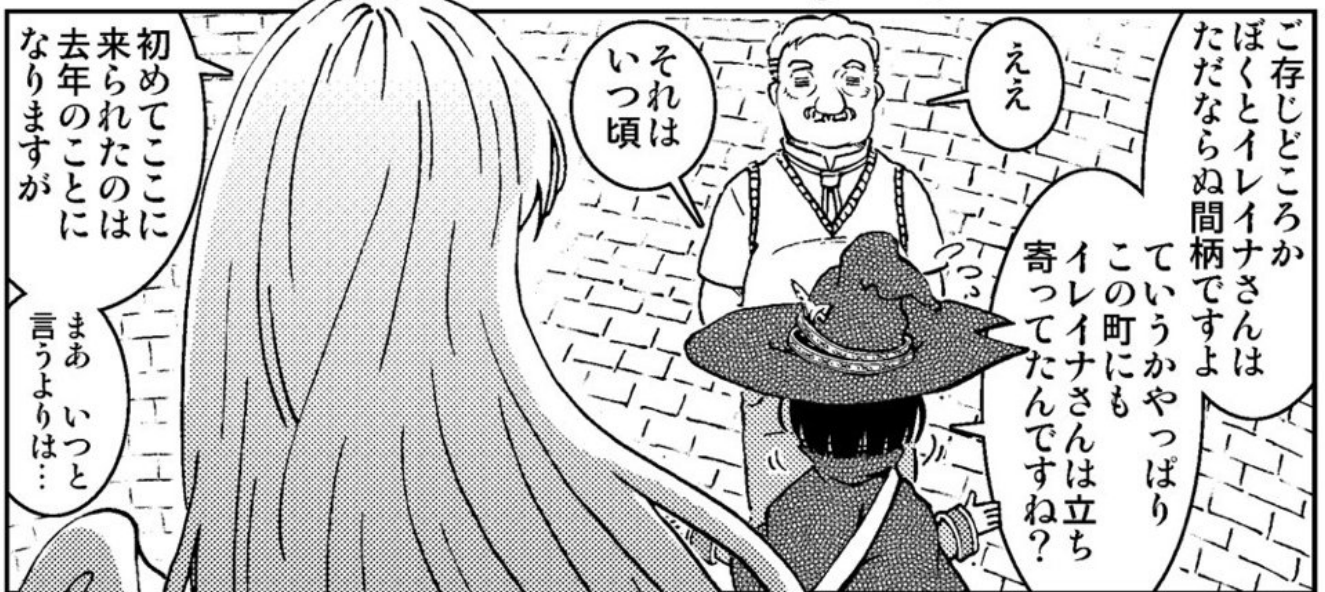
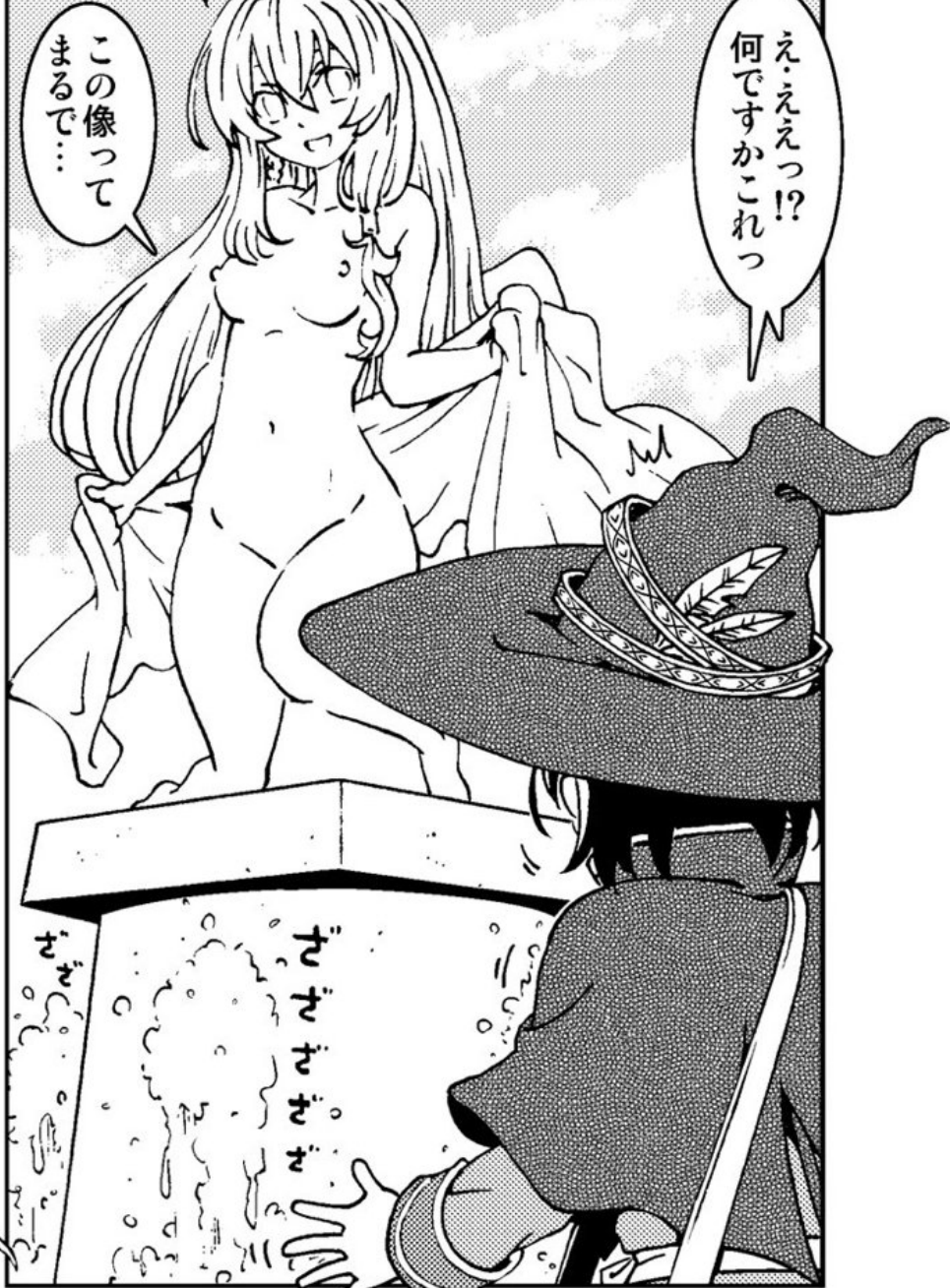
ここは若い夫婦と
その子供たちにあふれ

「子供だらけの町」
Children's Town 2

大変活気のある町に
変貌しています

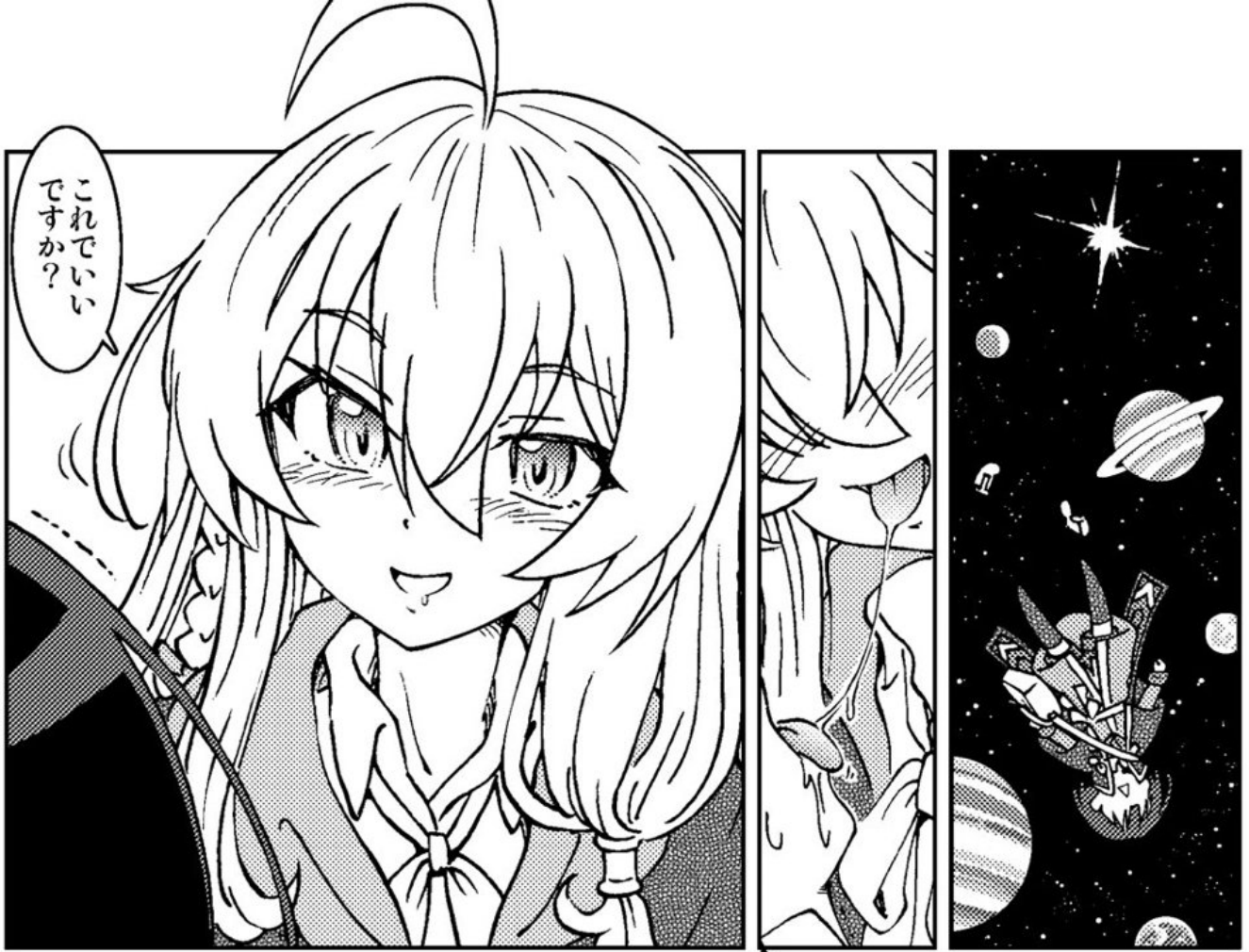














サヤさんのこと
ですからいつもなら
さっきの

「やっぱりこれって
運命ですね!」
って言った後には

「やはりぼく達
は太い赤い糸で
結ばれてるん
ですよ!」とか

「そういうこと
ですので再会の
キスを!」とか

通り一遍気持ちの
悪い事を言うじゃ
ありませんか

「なので

先回りして済ませて
しまおうかと

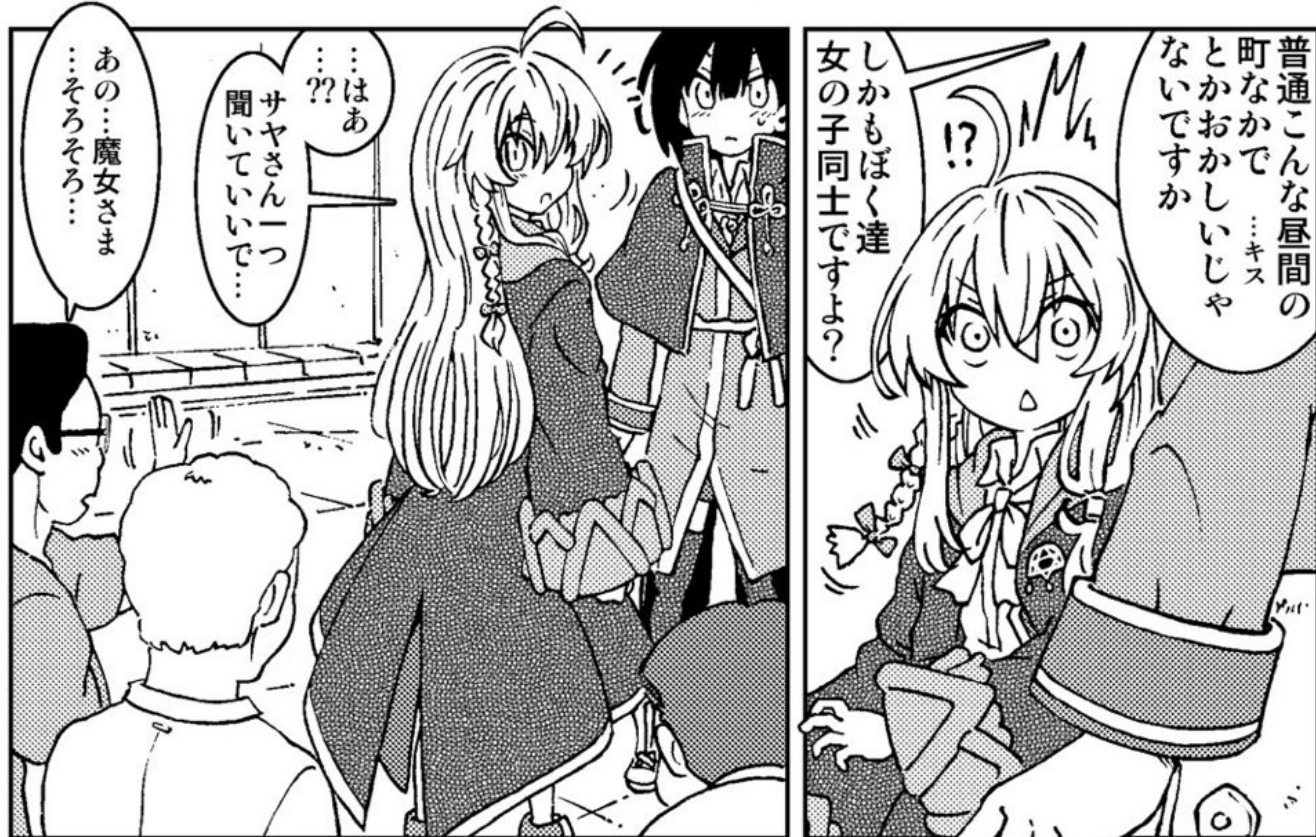


イレイナさんて
そんなノリの人
でしたっけ?

まあ 違いますね

この町の外では
ていうかてつきり
喜んでくれるかと
思ったのですが

喜ぶものにも!

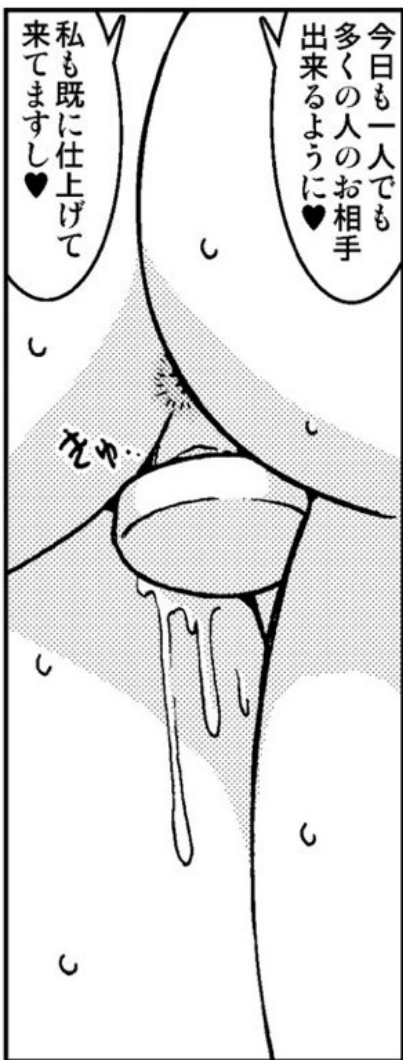


普通こんな昼間の
町なかで...キス
とかおかししいじや
ないですか

しかもぼく達
女の子同士ですよ?

...はあ
??はあ
サヤさん一つ
聞いていいで...

あの...魔女さま
...そろそろ...



私も既に仕上げて
来てますし♥

今日も一人でも
多くの人の相手
出来るように♥



時間が勿体ない
ですし♥

あ…そうですね
どうぞお好きに♥



良い度胸
ですね
受けて立ち
ましょう♥

この私を
試そうという
ことですか



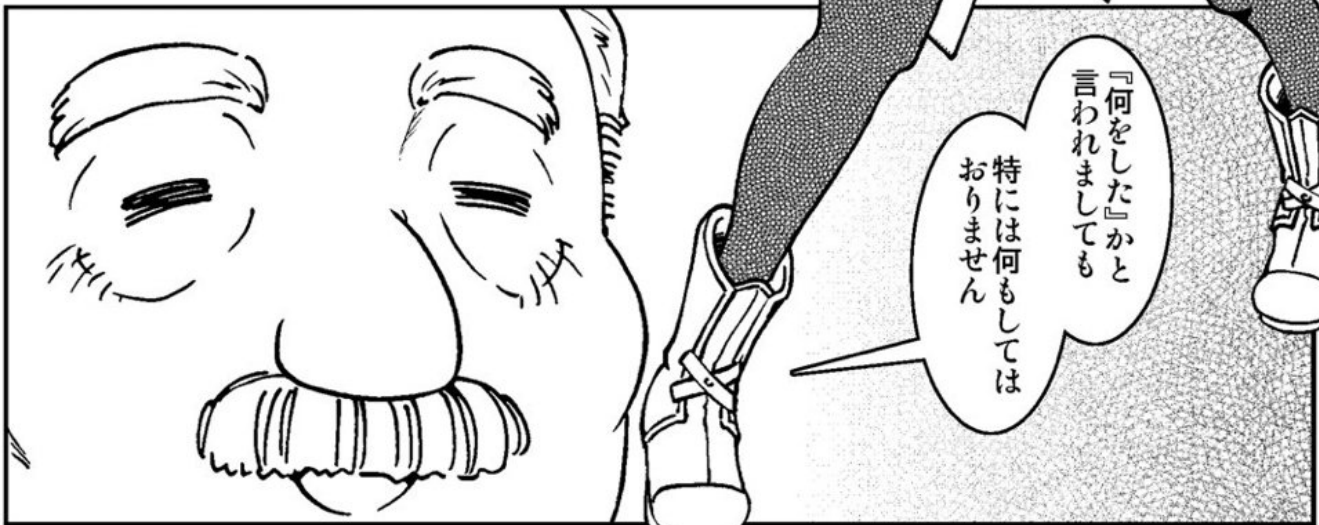
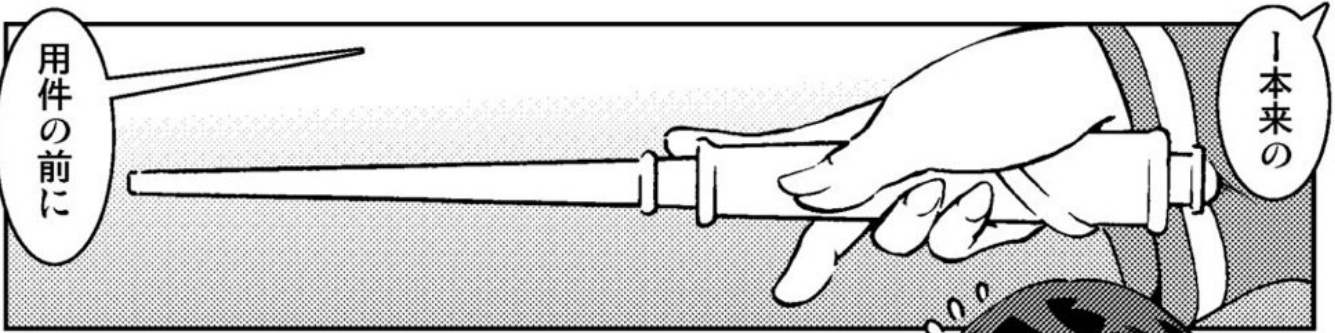
利きちんことして
魔女さまに
誰のか当てる
貰おうかなって♪

今日は趣向を変えて



へっへっ
それなんですけどお

今日はどなたがこの栓
引っこ抜いて最初に
生挿入する権獲得
したんですか？





私どもは灰の魔女さまに
ささやかな『お願い』を
しているだけで

さあ本目は
だこれのだ？

あ…ええと
ですね…

魔女さまは
それを快く
叶えて下さって
いるだけです

この射撃時が…
あるから…



とぼける気ですか？
ぼく結構気が
短いですよ

あり得ない
んですよね

イレイナさんって
人はそんなほいほい
他人のお願いとやらを
聞くなんてこと

なるほどなるほど
左様でしたか



それで私も合点が
いきました

ならばあなたさまも
お試しになってみては
如何でしょう

先ほどの様子だと
あなたさまにも

あの魔女さまに色々と
お願いしたいコトが

おみごと！

これで正解は
3本目です

お有りなのでは
ないですか？

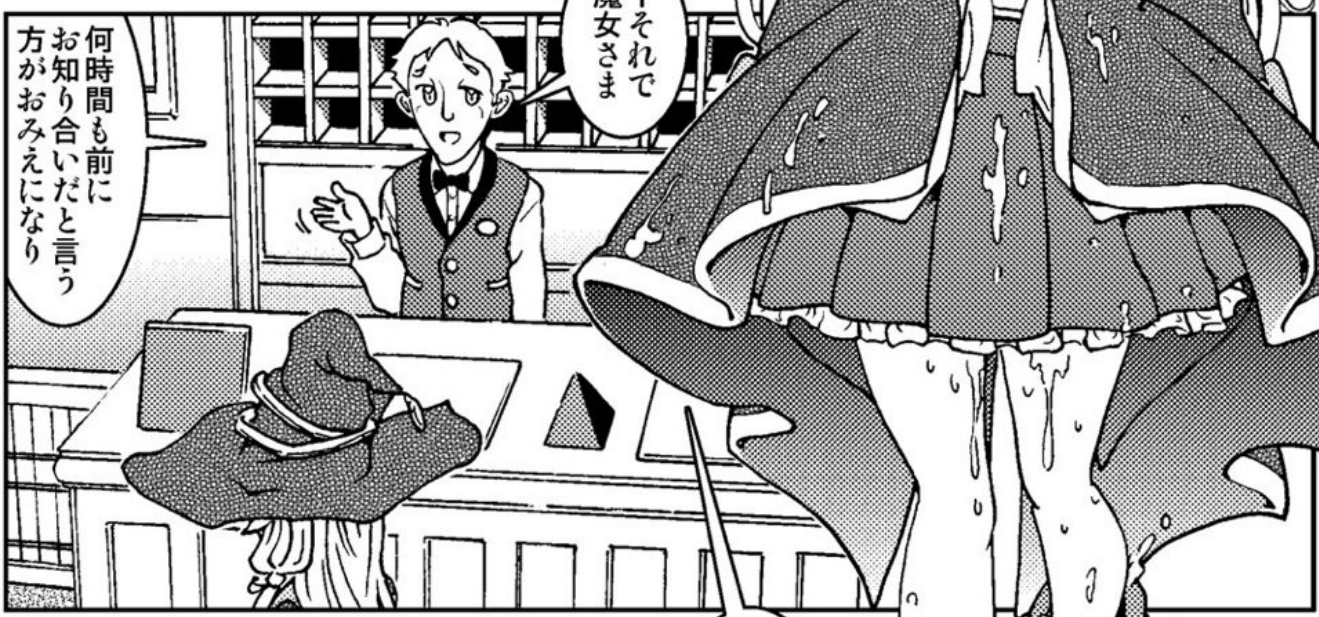


ただいま
戻りました

お帰り
なさいませ!



本日もより一層
お楽しみでしたね?



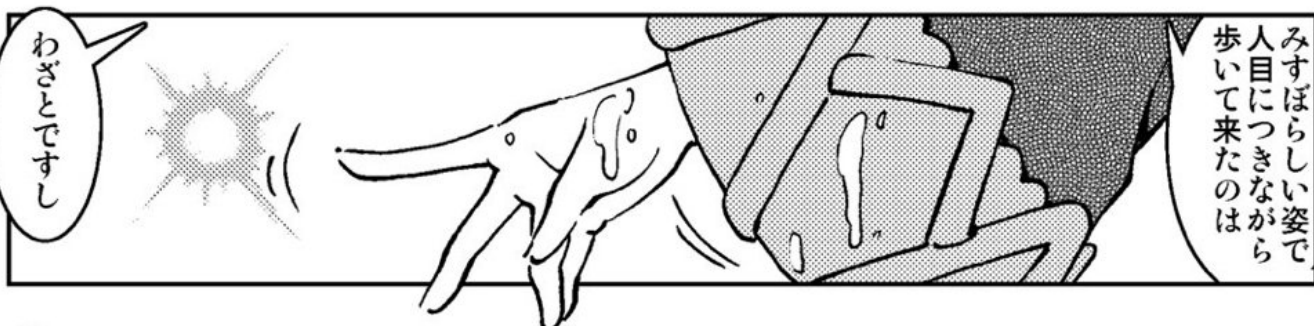
—それで
魔女さま

何時間も前に
お知らせいだと言う
方がおみえになり



ラウンジでお待ち
頂こうとしたのですが
お部屋に通せとゆずり
ませんで...

お客?





浄化して全部無かった同然に出来ますからね

こんな汚れなんて魔法でいくらでも



全部は浄化出来ないじゃないですか!



それは違います



わざと浄化しないでおいでるんです♥

ここは浄化出来ないんじゃないですか?



ハァ

折角皆さんが注いで
下さった劣情の証しを
その場で捨て去る
なんて勿体ないですし

ふふっ♥

ドギ

ハァ

ドギ

ドギ

部屋まで持ち帰って
栓としてのプラグを
引き抜いて出てくる
精子を眺めることで

改めてあらゆる人たちに
好き放題されてる自分を
実感して

その無様さに凄く
興奮しながら明日に
備えるんです♥

んま
!せ

りがわ
解け



うーん…

物理的にっ

まずは全身
くまなく!
洗い流し
ますよ!



頭の湧いた発言も
大概ですがっ!

好き放題されとか
無様さに興奮とかっ!



穢れた精神のまま
魔法使っても何も!

綺麗になるわけ
ないでしょ!



今すぐ!
目を覚まさせて
あげます!



意外ですね
サヤさんとも
あろうものが今の
私を前にして

どんな無茶な要求を
してくるかと思っ
ていました

ひたすら背中だけを
洗ってるとは

日頃口から漏れ出てる
いやらしい妄想はどこに
行ったんですか？



ーなるほどなるほど

それでようやくこの町の
おかしいところに…理由に
思い当たりました



何言ってるんですか！
ぼくたち女の子同士ですよ？

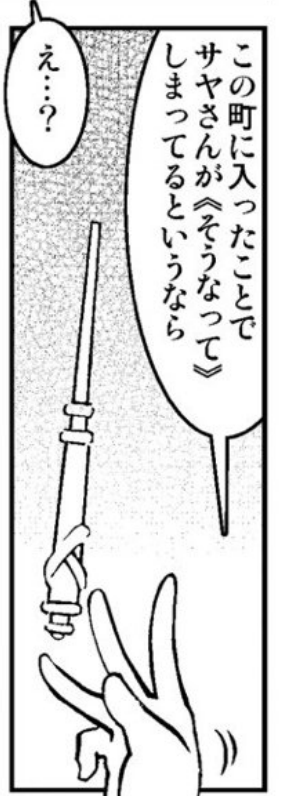
ましてや普段と様子が
違ってるイレイナさんに
何かするなんてあり得
ないですよ！

はあ…



はい？

解らなくても
いいです



この町に入ったことで
サヤさんが《そうなるって》
しまつてるといふなら

え…？

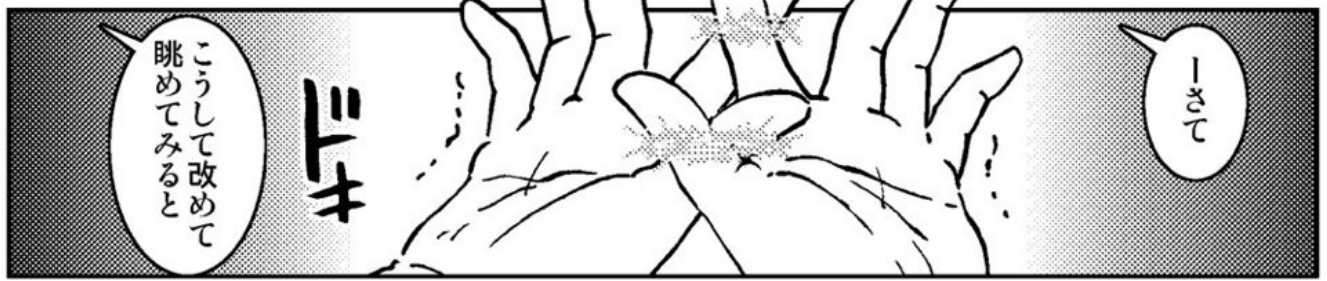


日頃のサヤさんの妄想が
いかに気持ち悪いかを
あじ遭わせてあげましょう♡

えっ？

イレイナ…さん？

ふふっ♡





「とある町で暮らすことになった
もう結婚して子供も居る」って
手紙を寄越して音信不通

失踪同然に姿を消した
若い人達からある日故郷に

♪
沢山の安否確認の
問い合わせがあった
からなんです!

聞いて下さい
イレイナさん!
ぼくが今回この
町に来たのはっ
この町の住民達の
親兄弟の方々から



うふっ♡
サヤさんの肌…
触り心地良いですね

普通じゃないこと
ばかり起きてて…

逆探知魔法で手紙が
この町から出されたことを
突き止めて会いに来た家族も
そのまま消息を絶つたり



何よりそんな濃い
毛が繁ってるその奥に

き 聞いてますか?
イレイナさん…!
この町は…
きけん…

こんなすべすべ
肌でいながら
陰毛はすこく
濃いなんて♪
すこくえっちです♡



少々グロ目のおまんこがアンバランスに隠れてて♡

でも…サヤさんって

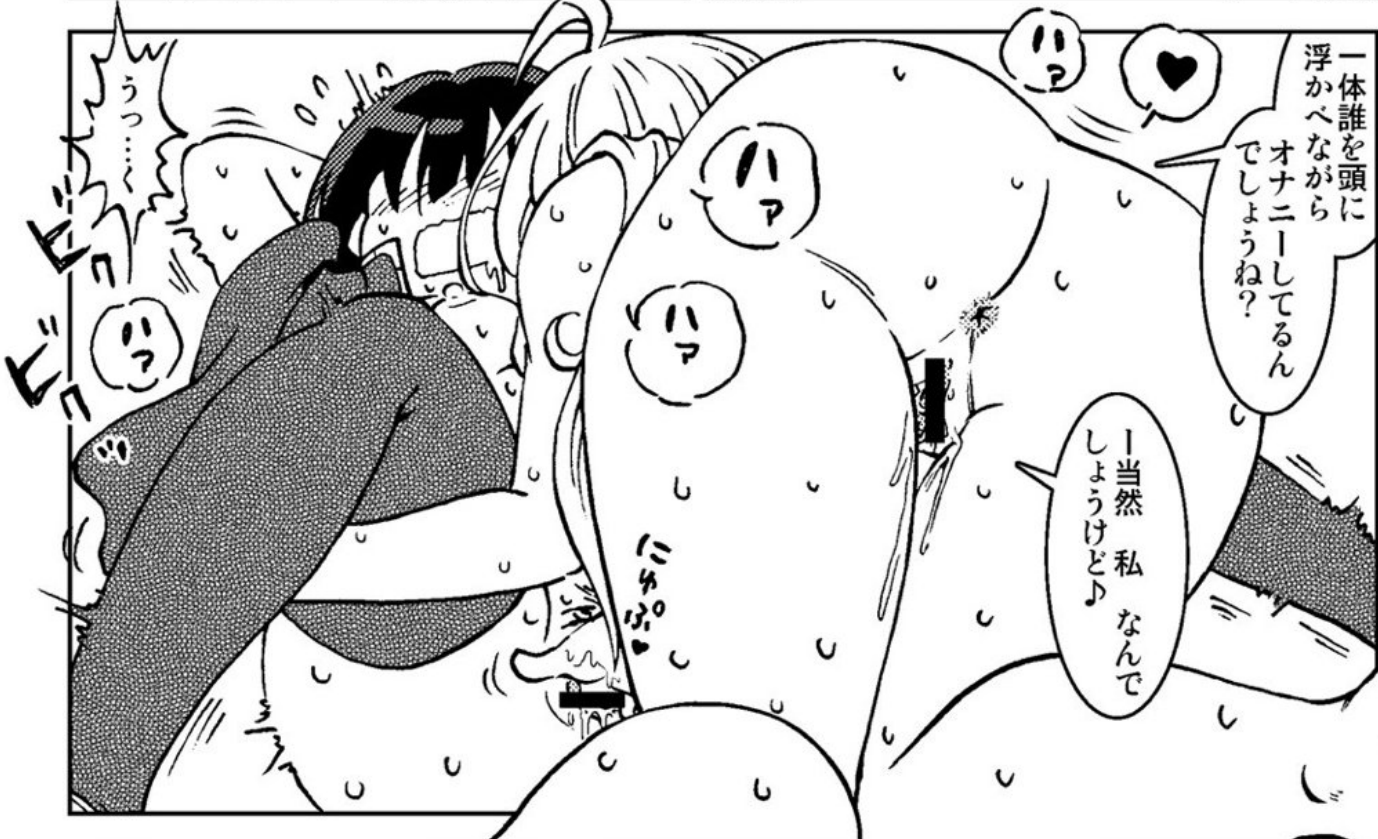
…処女ですよね？

当然じゃないですか！



なるほどなるほど
ということとは

サヤさんはヘビー
オナニストでしたか



一体誰を頭に浮かべながらオナニーしてるんでしょうね？

—当然私なんでしょうけど♪

…どんな風に



シテるんです？



それでも心配
しないで下さい

私が誰にでも股を
開くのはこの町でだけ

どうやら私は自分で
思ってた以上にえっちな
ことをされたりしたり
するのが大好き過ぎる
みたいですが

むしろ性欲が我慢
出来なくなったら
ここに戻ってくれば
良いと解ったので

他所ではこれまで
以上に潔癖で清純な
ふりが出来ますし

たとえ方が一
旅の途中で
お金に困って
やむを得ず他所で
股を開いても

この町以上に
満足できる
おちんちんが

あるとは思え
ませんからね♥

ん...でも？

かつていい歳して年頃の息子が居るのに主に性欲解消のために奴隷を買って平気な村長とか居ましたが

本人の欲求に対してどの位の《実力》だったんでしょうか？

もしあの人がこの町を訪ねて来ることもあったなら

股を開いてみるのも興かもしれませんか♥

まあそんな可能性は限りなくゼロでしょうけど♪

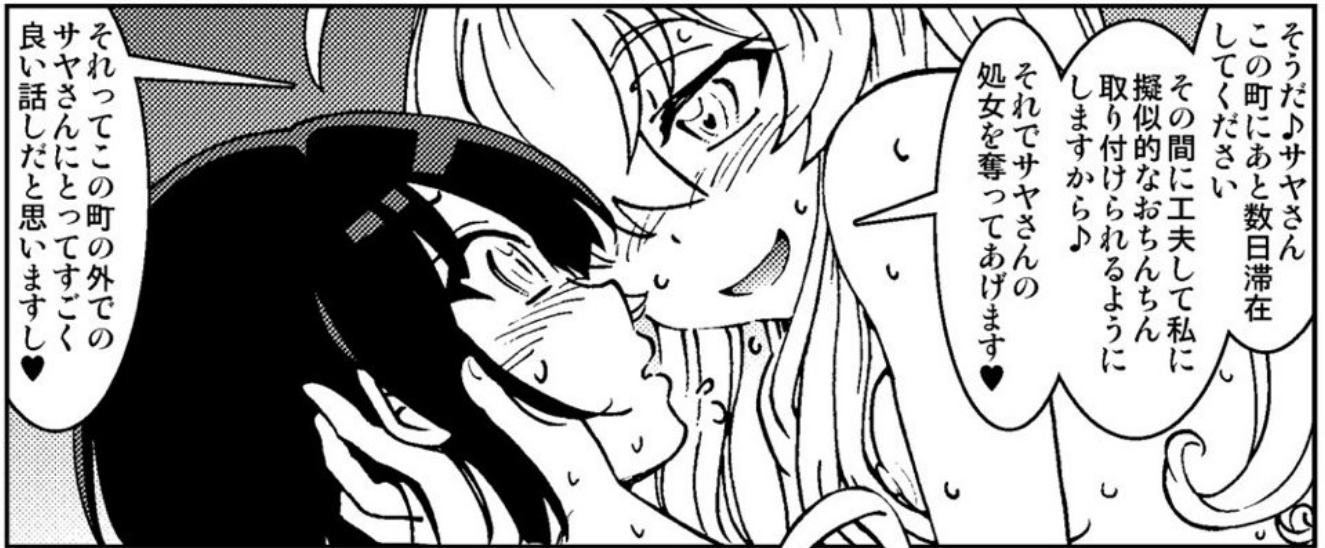
それにしてもサヤさん やはり日頃かなりオナニーしてきてるんですね♪
おまんこの仕上がりがとても良いです♥
ここに今おちんちん突っ込まれたら

サヤさんもおちんちんもすごく幸せになりそうです♥

でもそれでサヤさんの処女が誰かのものになるのは...

ちよつと痛です

はぁ



そうだよサヤさん
この町にあと数日滞在
してください

その間に工夫して私に
擬似的なおちんちん
取り付けられるように
しますから♪

それでサヤさんの
処女を奪ってあげます♥

それってこの町の外での
サヤさんにとってすごく
良い話だと思いますし♥



お…お気に入り…?!

そう♪

私を思いのままに
犯させてあげましょう♥



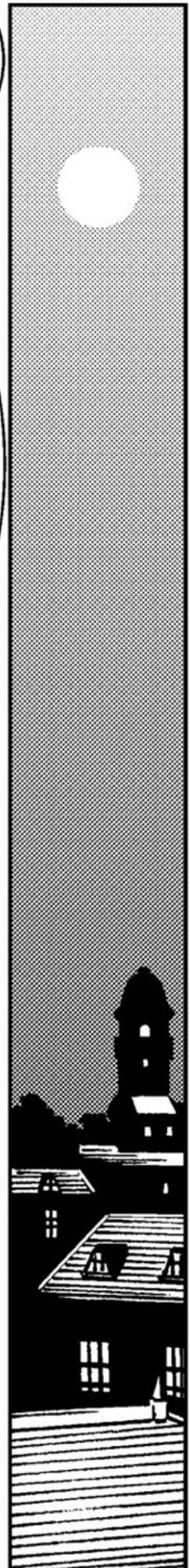
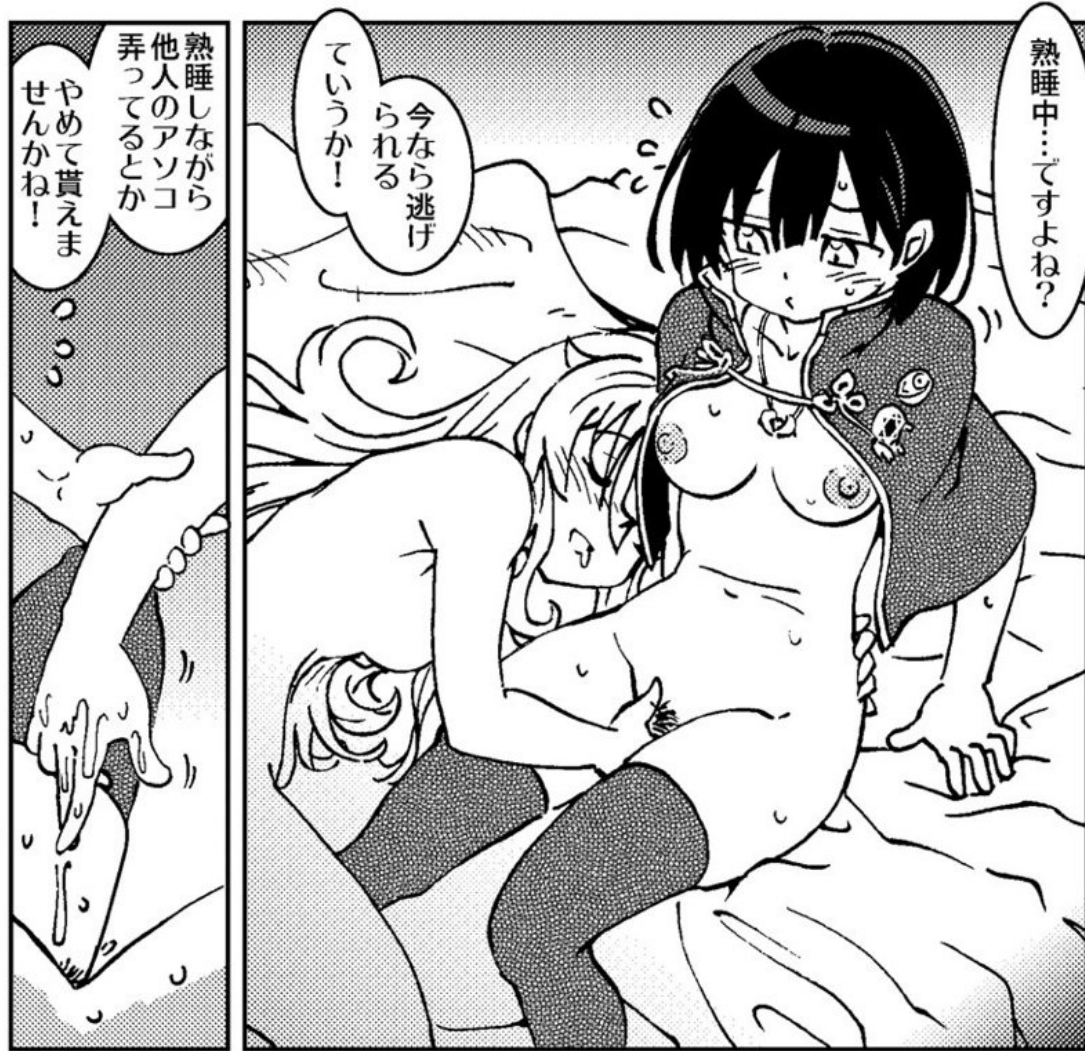
このデイルドが
あるから私はこの
町を離れても!



お返しにサヤさんには
この私のお気に入り
デイルドを取り付けて

ハ?

ハ?





まずいまずい
まずいですよっ!

サヤさん…♡

イレイナさん起きて
ませんよね…!?

い いつもの跨がり
方じゃさっきまで

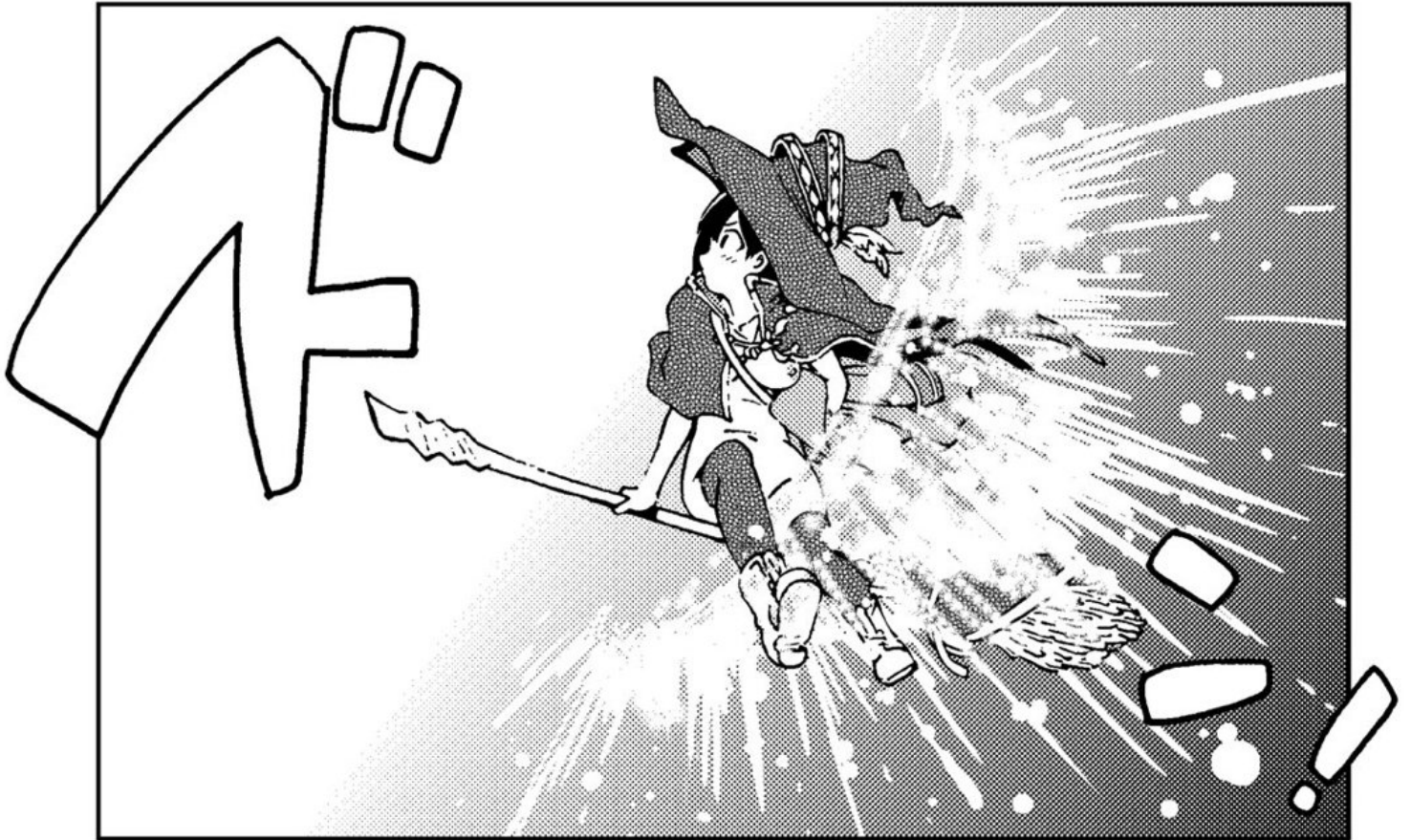
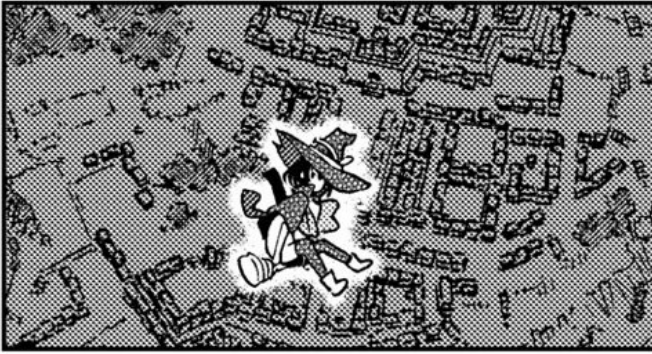
散々飛ばられて
過敏になってる
アソコが

擦れて気持ちい…

いやっ?

やってる
場合じゃ…



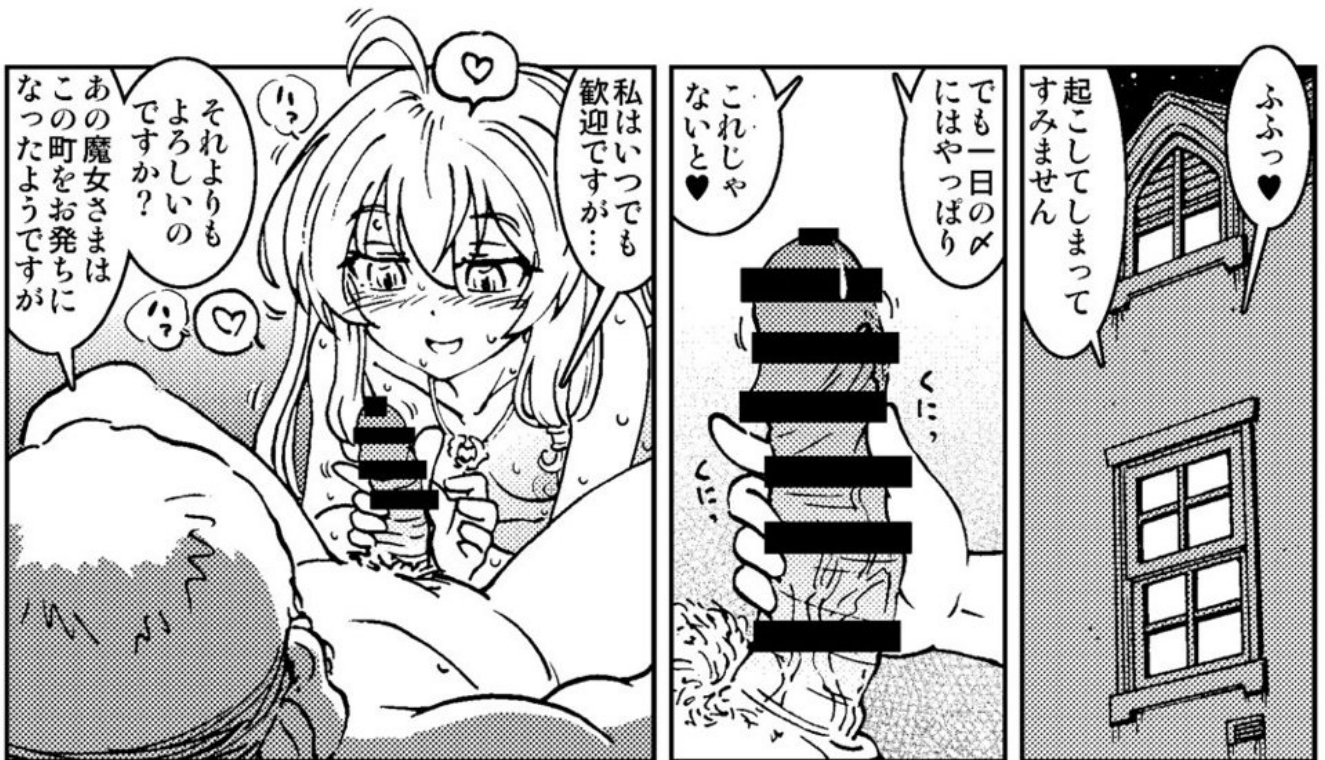
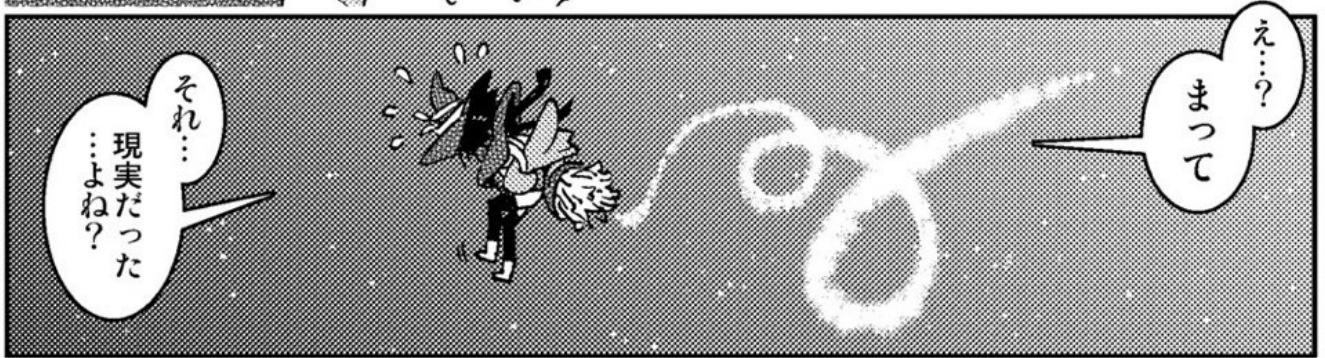


頭の中なんか：
ぞわっときて？

なに？
何??今の



え…







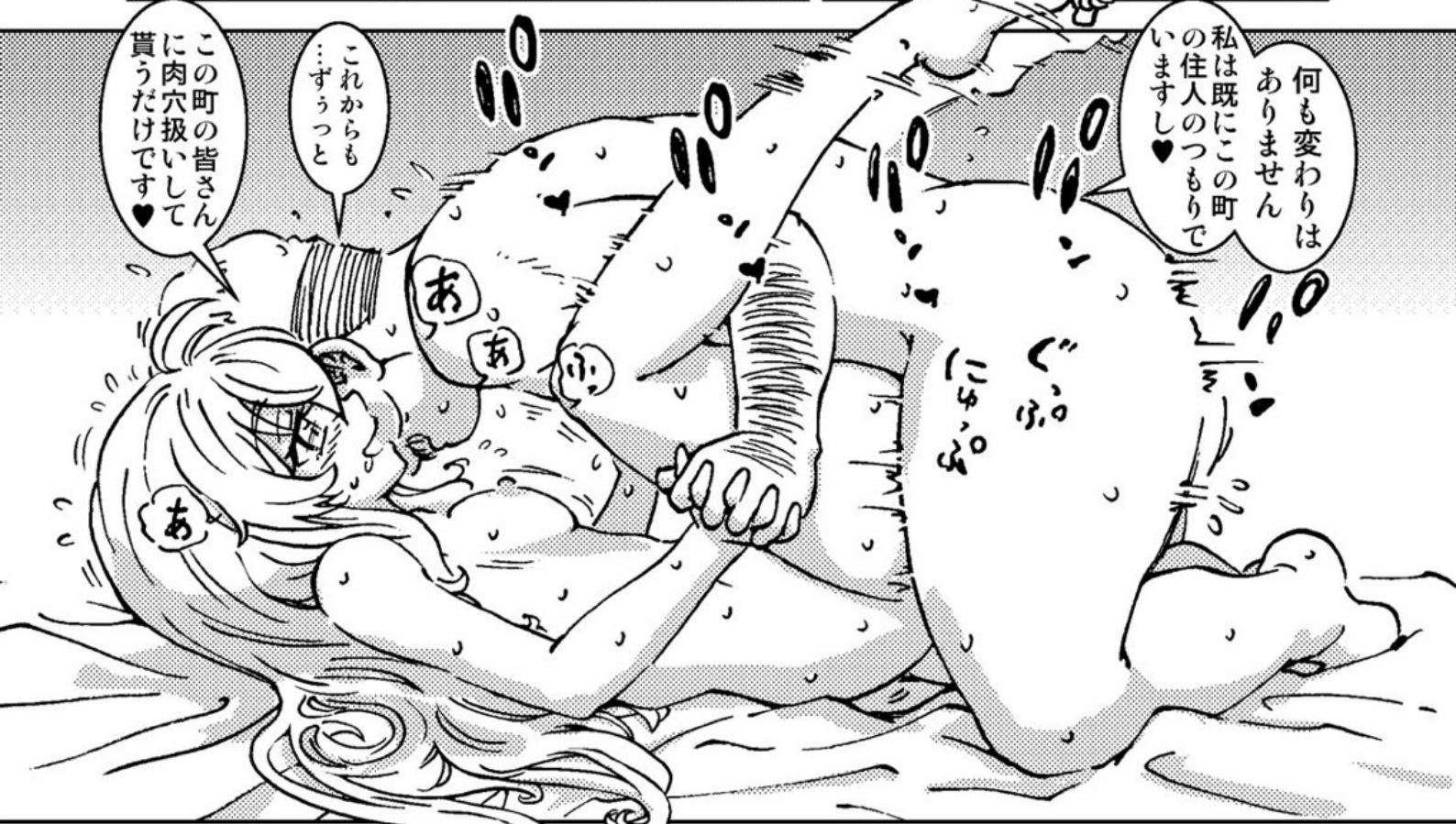
それで…町の呪いを
悪用している私を
断罪されますか？

これをお当てに
なったのは
あなたさまで
お二人目です



おお 自力で
お気づきに
なられましたか

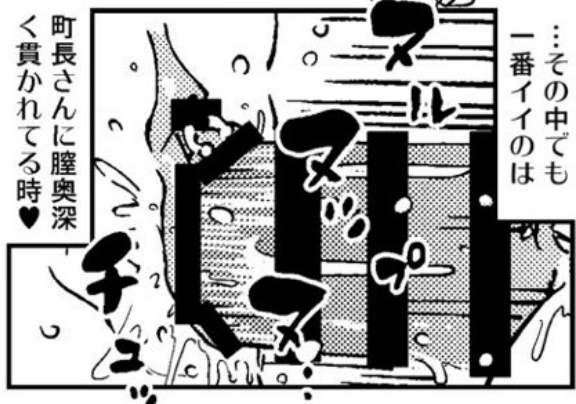
さすがは高位の
魔女さま…



何も変わり
ありません
私は既にこの町
の住人のつもりで
いますし

これからも
…すうつと

この町の皆さん
に肉穴扱いして
貰うだけです



町長さんに臆奥深
く貴かれてる時

…中でも
一番イイのは



他の国を旅して
る時にもいつも頭
に浮かべているの
は

この町でのセックス
漬けの思い出です



…イレイナが
そう望むのなら
当然大歓迎だ！

では誓約の
ピアスを追加
しようか

今の気持ち
解けることの
無いように

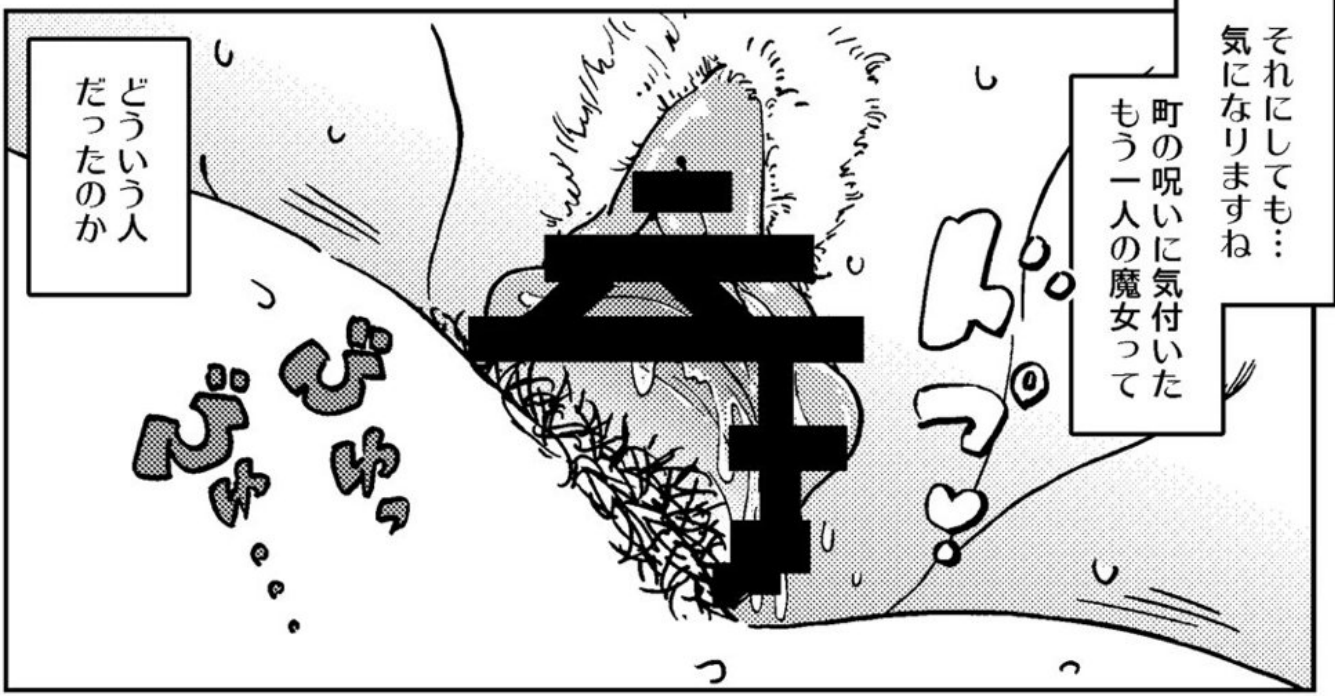
あ…それ
素敵です♡

なら 刺すところも
町のみんなにお披露目
しませんか♪

二人の結婚式
みたい♡

はー

はー



それにしても…
気になりますね
町の呪いに気付いた
もう一人の魔女って

どういう人
だったのか



素敵な民
です♥

厄介な
初見殺しの…

は

はあ

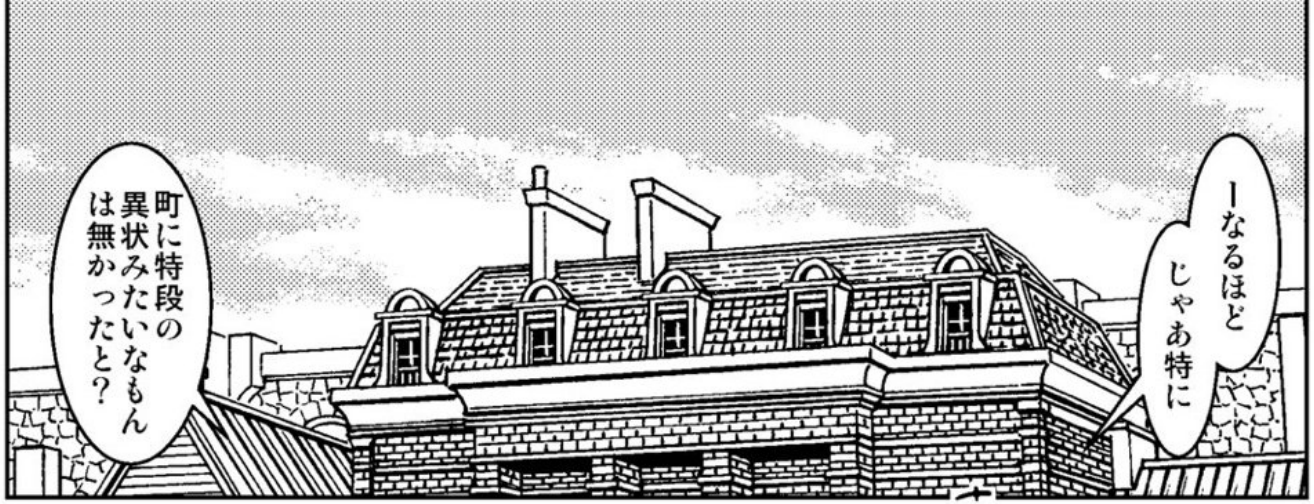
「反転」の
呪術結界…
これほどでも

はあ



●本作でのイレイナさんは自分のセックスには貪欲ですが、サヤさんの貞操には一家言ある純潔派なので、残念ながらこの町に深入りしてもこんな展開にはさせないらしいです♡





「なるほど
じゃあ特に

町に特段の
異状みたいなもん
は無かったと？



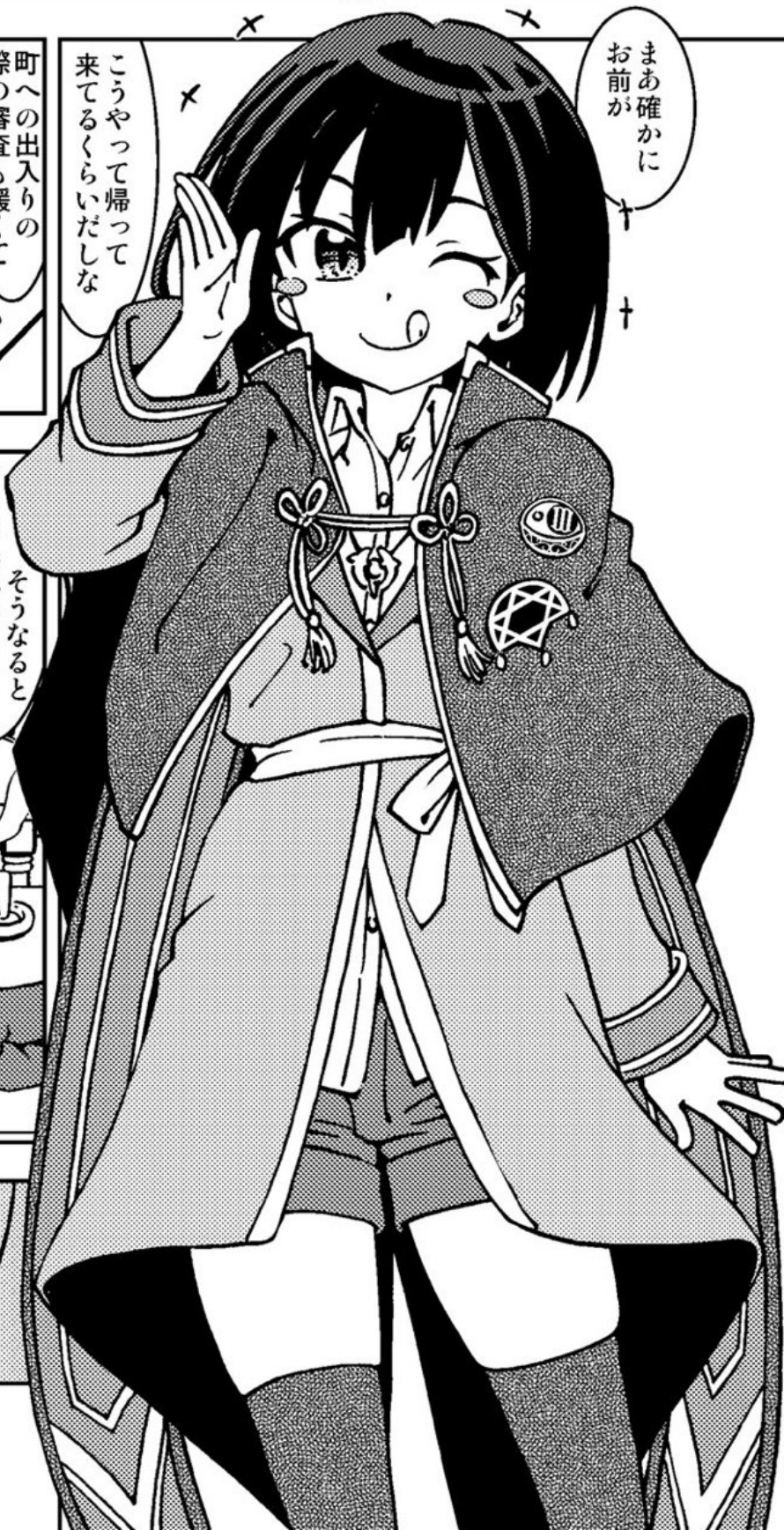
町への出入りの
際の審査も緩くて
来てるくらいだしな

中での行動制限も
ほとんど無し…と



そうなること
町の住民は本当に
移住したってことで

失踪届出してる
国許の家族やらの
方が考えすぎ…か

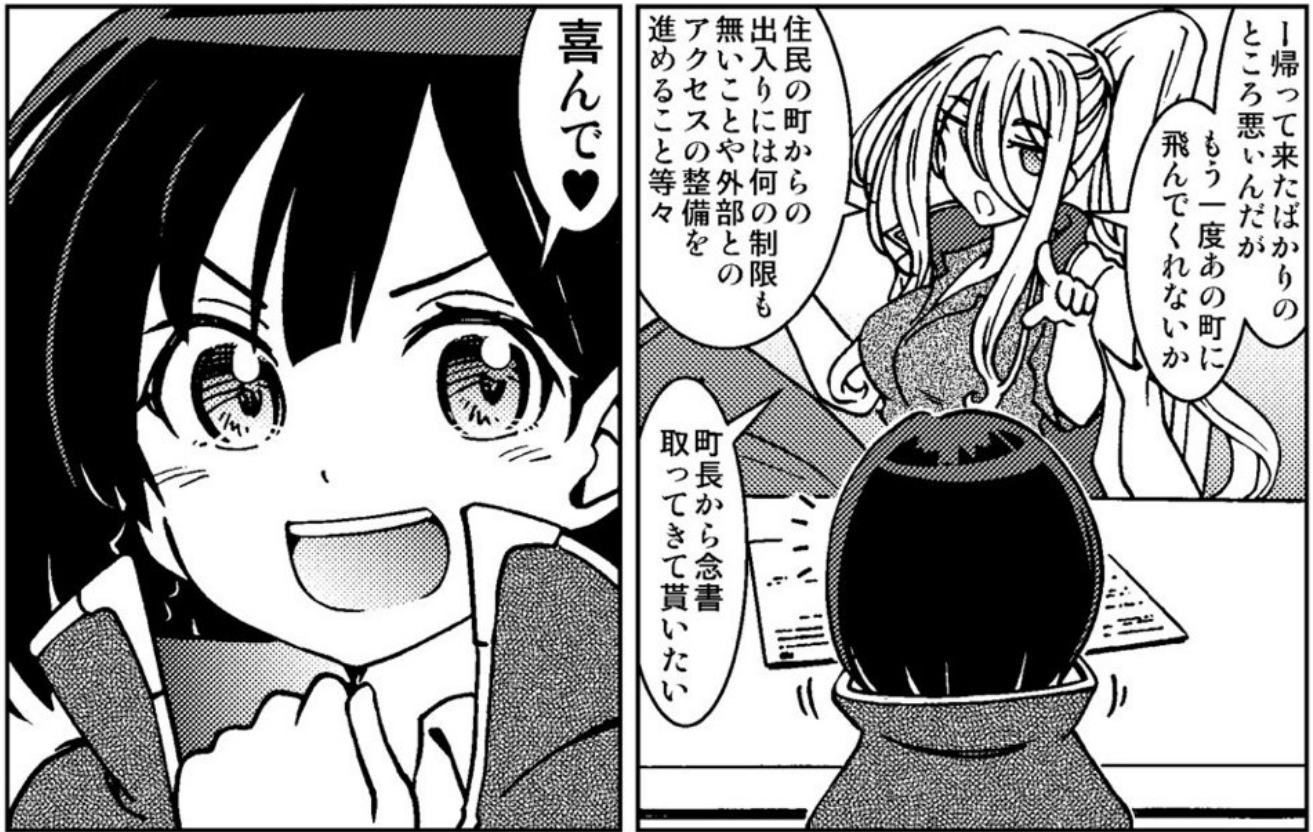


まあ確かに
お前が



「なんとなれば
手練れを集めての
強制捜査も念頭に
置いてたが…」

「それまでの
案件じゃ無かった
…?」

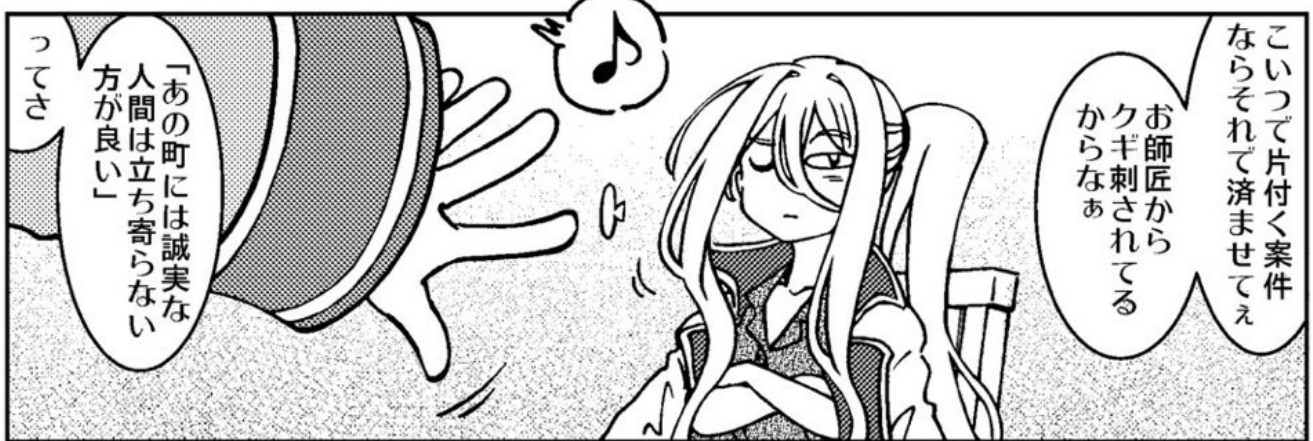


「帰って来たばかりの
ところ悪いんだが
もう一度あの町に
飛んでくれないか」

「住民の町からの
出入りには何の制限も
無いことや外部との
アクセスの整備を
進めること等々」

喜んで♡

「町長から念書
取ってきて貰いたい」



「こいつで片付く案件
ならそれで済ませてえ
お師匠から
クギ刺されてる
からなあ」

「あの町には誠実な
人間は立ち寄らない
方がよい」
ってさ

数百年前に深刻な環境汚染に
よって滅亡したとされる古都
イリクリニア

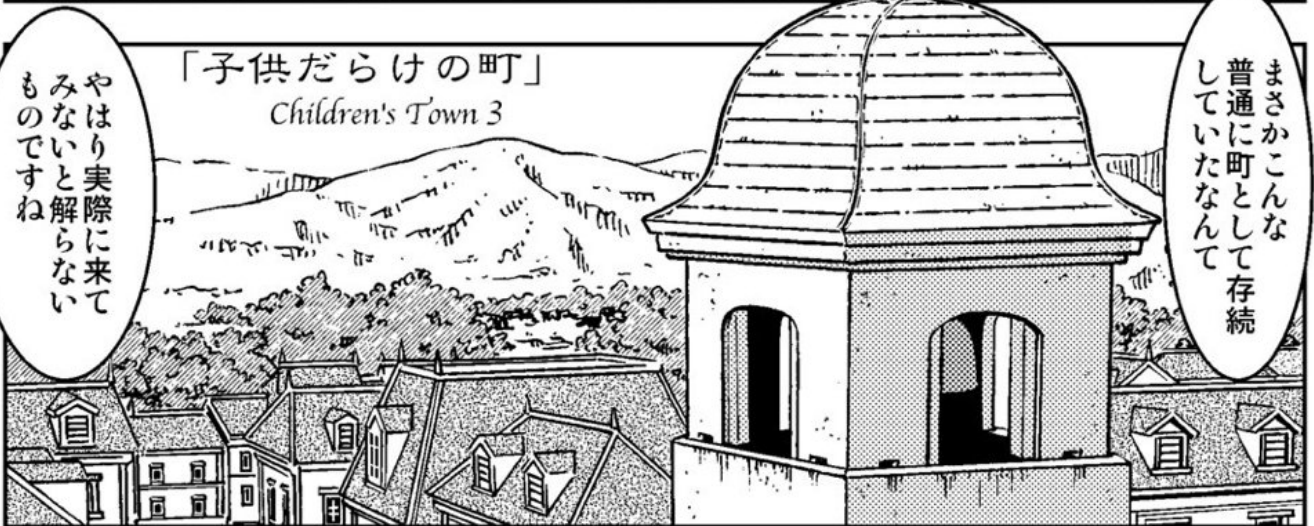
発掘調査もその汚染の
後遺症によって無期限
中止になっていたと
聞いていましたが…



まさかこんな
普通に町として存続
していたなんて

「子供だらけの町」
Children's Town 3

やはり実際に来て
みないと解らない
ものです



ーはい

永年の調査によって
この地域の汚染は
老人には影響が少ないと
いうことが解りまして

老人たちの
隠居の地として町を
再生してみようと
試みました

しかしながらそれでは
明らかに町を造り維持
するための労力活に
欠けますので：

定期的に外部から
魔女さまや魔導士を
お招きして

知恵とお力添えを
お願いしている
次第です

なるほど
なるほど

他所の新興地域に
比へても高額な報酬を
提示してるのは

そのせいですか

それではさっそく

取りかかり
ましょう♪



聞く限りここに
来るまで皆さんは

いろんな仕事を
なさっていたと
いうことなら

折角なので
もう一働きして
貰いましょう

若返りは
不可能でも

筋力や気力を魔法で
補助出来るので

一緒に街造り
頑張りましょう

さあ皆さん

私が何を手伝えれば
良いか指示を
お願いします



出来ればここを離れて
以後は一切をお忘れ
頂きたいとも思っ
てる位なので

ーそれは
原因自体はある程度
以上に判明している
ということですね？

何を提供すれば
教えて貰えますか？

なにとぞご勘弁を

魔女さまに厄災が
及ばないように最大限
配慮致しますので

お気を散らさず
契約期間・町の整備に
ご尽力賜りますよう

はい…？

あと…なるだけ
私以外の者とは

口を利いたり関わったり
なさらないように
お願いいたします

あの…

魔女さま

ちよっと
お話が…



私が直してしまえばいいだけだから



脱衣所に
もうひとり



三人と…



ひとり…
ふたり…



覗きをするため
ですか…



露天風呂に
誘導したのは
なるほど
なるほど



—それなら

私がさっき体力の
補助強化を掛けたから…



…いえ

よもや実行
するまでとは

町に入った時から
いやらしい視線は
いくつか感じて
いました

あーそれにしても

いくらおじいちゃん達ばかりといつても

うっかり寝込みら襲われたりしたらどうしよう…♥

いざ襲って来てもキツイ匂いで撃退できるように

私もこれまでの旅でそれなりに経験してきたけれど

性欲って枯れちゃうものなのかしら？

とか警戒して

おまんこ洗わないで過ごしたりしてたんだけどな♥

さすがにこれだけ臭うおまんこならしゃぶりたいなんてひとは現れない筈...



もし居たなら

しゃぶらせて頂けますか？

わしは若い頃から臭いおまんこにしか欲情出来なくて

汚れの強い下着を被りながらでないとな射精も出来ない性癖持ちです

魔女さまの下着の仕上がり具合は素晴らしい...
これまでの人生で嗅いだことも無いくらいに

これ程のまんこを嗅ぎしゃぶらせて貰えるなら



ここで貴女に殺されて残りの財産を奪われても構いません



別にあなたの命には興味ありませんし



財産にも興味ありませんが

それ程ご自身を
特殊性癖と自負されて
いるなら

はあ
今ここで

はあ

この臭くて
汚いおまんこを
しゃぶり尽くしてみ
てください

おわな

くめ

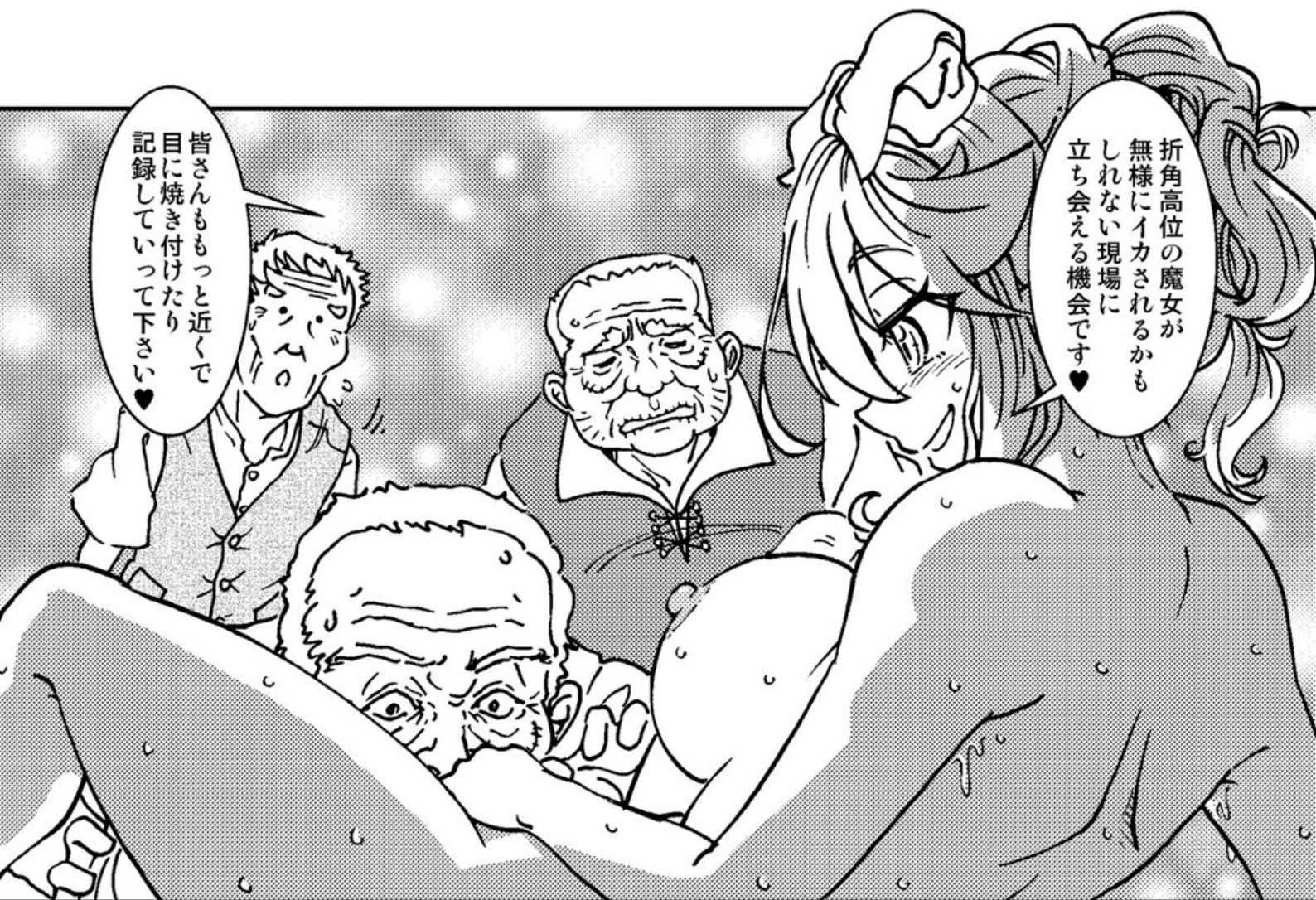
もしあなたがこの
臭いおまんこに嘔吐か
ずクンニやりきれぬなら

あなただけでなく
今ここに潜んでる
皆さん全員のお
ちんちんも強化して

…折角のお誘いだ

誠心誠意しゃぶら
せて頂きますとも

腔内射精させて
あげても
構いません♥



折角高位の魔女が
無様にイカされるかも
しれない現場に
立ち会える機会です♥

皆さんももっと近くで
目に焼き付けたり
記録して行って下さい♥

ん…これは
これは
なんと芳しい…

肉体由来の臭気だけが
濃厚に漂ってくる…

香水などは使わず
魔法で匂いを封じて
おられたのですか…

なんと
ご褒美じや



そしてこの
おまんこ
ひだ部分が
ぶつくりして

本当に唇みたいなの
形と色よ♪



おいっ！早よう
イカせろや

ず
ちゆるるる

早うぶち込みとうて
滾りきりおるわ…！！

ああっ
…くそ

もうっ…

どのみちもう
このまんこもちんぼ
欲しがつとるに
決まっとる！！

好き勝手
言ってくれ
ちやつて

でも…確かに
もういい加減
私の方も…



だつたら
…来て

!?

私の負けて
いいからっ

みんなの…
…おちんちんでっ

…私のいろんな
穴…好きなように
してっ

根つからちんぼ啜える
ためだけに創られた
ようなおまんこなんだ

…三十本
以上…

十本か？
二十本か？

これまで何本
啜え込んできた
ことやらのう♪



これと言ったのは
魔女さまのほう
ですから…

後になって
怒ったりとかは
無いですよ？

待ってました！

すっ

そのお言葉



むおん…

ぎん！



ねっ?!



それとも根っからの
好きモノなんですかあ？

そんなにこいつの
チンポ良かったのか？

挿入^{いれ}ただけで軽く
イキなすったかい

おやおや魔女さま？

うあっ…
それ…多分…

両方♥

ぐわ
ぐわ
ぐわ

当然尻の穴も
開発済み
なんですよな？

オ

うん♥
おまんこ
同時に挿入ら
れるの好きっ♥

オ

身動き取れなくされて
何人もの男に自分勝手に
膣出しされたりするの
好きっ♥

オ

こんなだらしなく
股を開いてるとこ
沢山の人に見られたり
写真に撮られたり
するの大好きっ♥

もっと呼んで♪

私のおまんこ
使いたい人…

あの頃はここまで身体が
仕上がってなかったから
嫌だった記憶しかないけど

本格的な輪姦されるのは
何時以来になるのか…

町のみんなで私を
辱めてっ…♥♥

オ

オ

あ♥

何より今回ののは…
おちんちんのレベルが
違う…♥

いかに魔法で強化
してるからといって

あ♥
あ♥

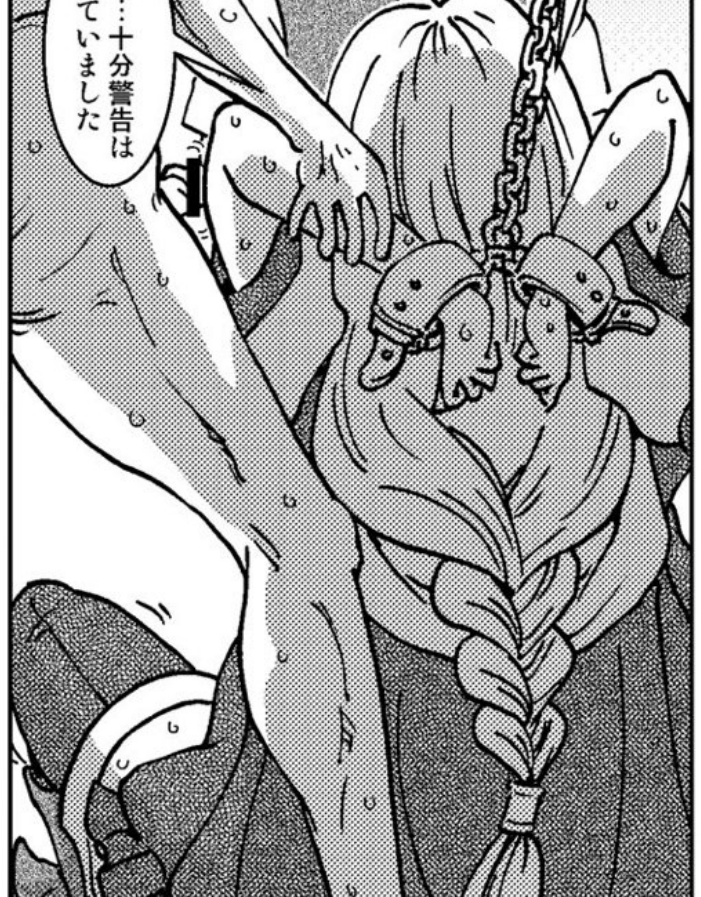
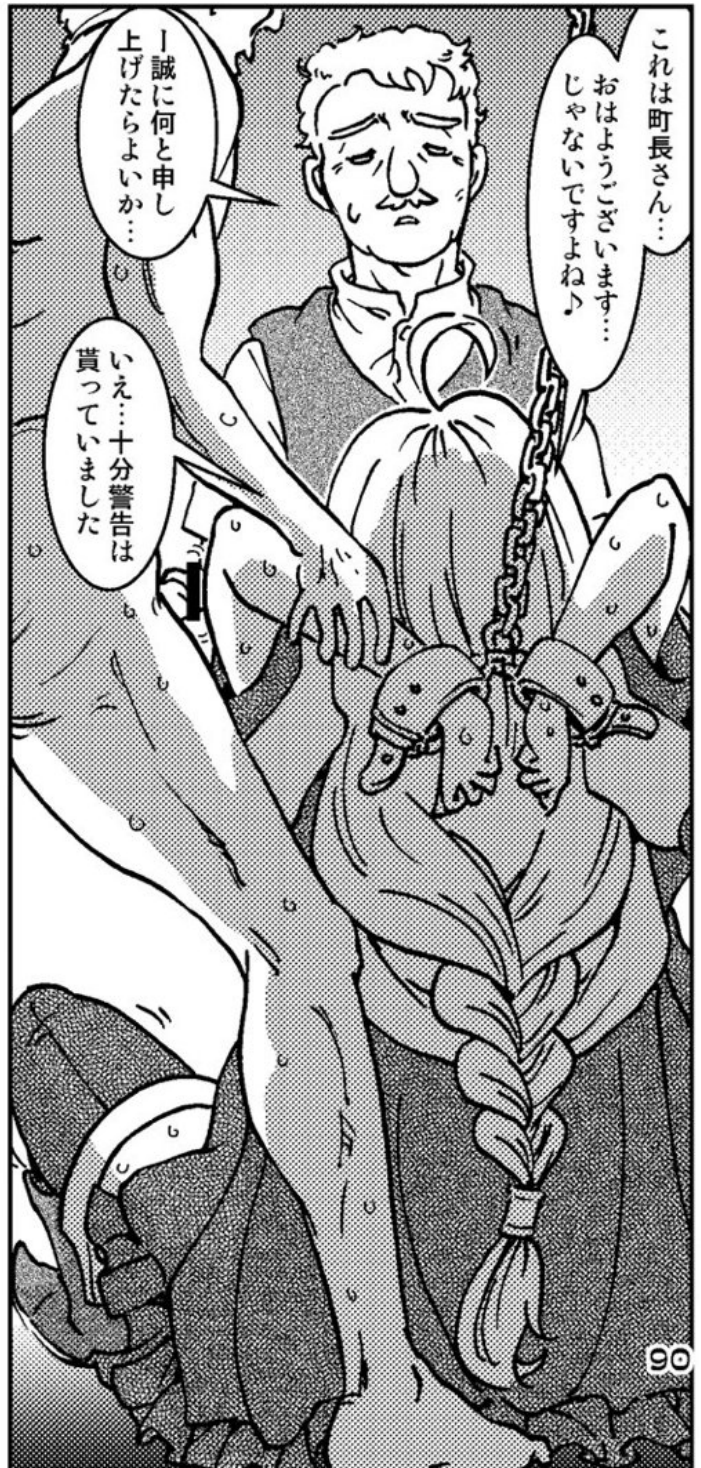
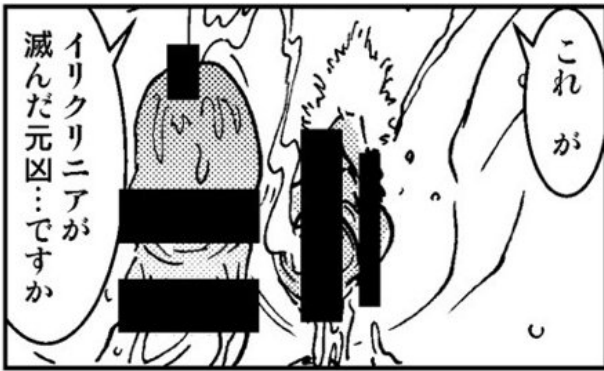
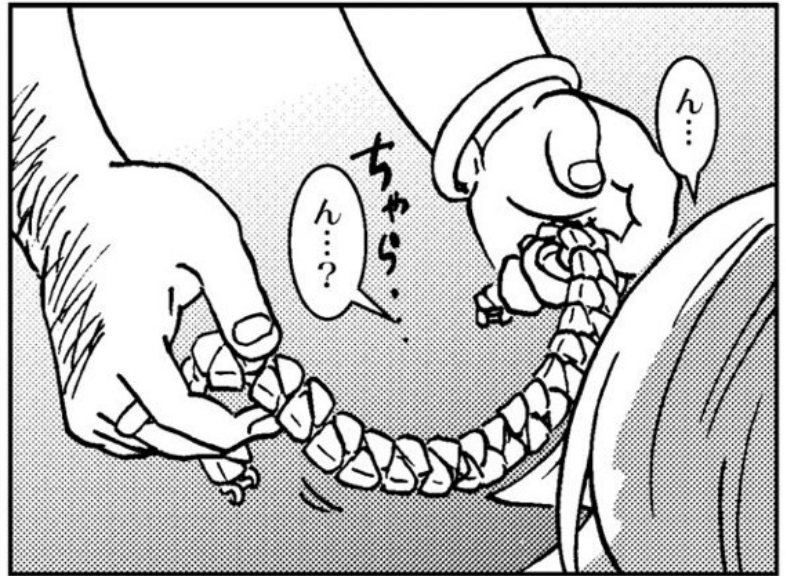
は…
は…
あ♥

あ♥
あ♥

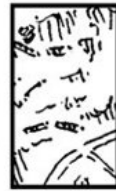
素材が粗末では話に
ならないけど…♥

…若い頃には相当悪さ
してきたのでは…♥

ここのお爺ちゃんたち



「かつて王族・諸侯・領民に至るまで誠実さの輪で強固に結束し



盤石の王国を築いていたイリクリニアを正攻法で崩せないとみた敵性国が



これを根本から倒すために念入りに仕掛けた災厄級の呪術



この地に踏み込んだ者は例外なく当人の根源の信条が真逆に反転する



普通の集団は多様な価値観と信条で成り立つからそれ程極端な結果にはならなかったであろうが

この都にとつては致命傷となった



更に術者は万一の不発に備えて

姦淫に対する抵抗感がまるで無くなる呪いも上乘せしていたと思われる…

だから性欲が枯れてると思われるお年寄りを集めて

呪いの影響のサンプルを採っていた…と？

…では

町長さん…自身は？

私はかつてこの発掘調査を指揮した責任者として

これら仮説を実証してみたい衝動に駆られました

！そうか

こういうもので呪いの効果を消して…？

気休めでしょうかありませんが…

！ですすね

確かにまだまだ

《身に覚えのある私》には程遠いようです♪



試してみたいコトを
思いついちゃいました♪

事情を知ってしまった
今 ちよつとばかり

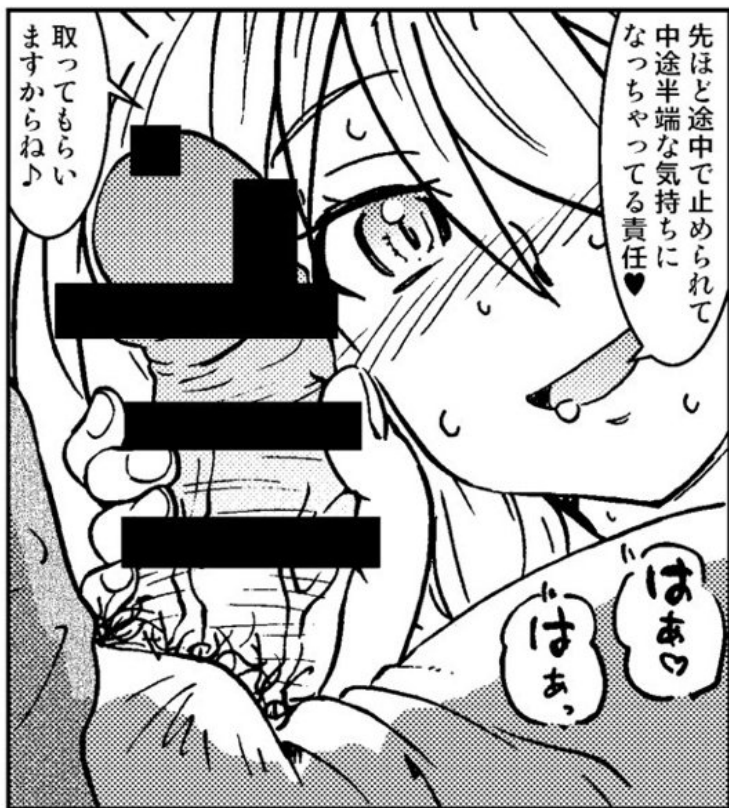
身に覚えのある私なら
なによりそう判断する
とは思いますが



基本的にはこの町の…
呪いの外に出れば
正気には戻れます

こうなってしまった
以上 魔女さまはもう
お引き取り頂いた方が
良いかと思いましたが…?

うーん…
そうですね



取ってもらい
ますからね♪

先ほど途中で止められて
中途半端な気持ちに
なっちゃってる責任♥

はあ♡
はあ♡

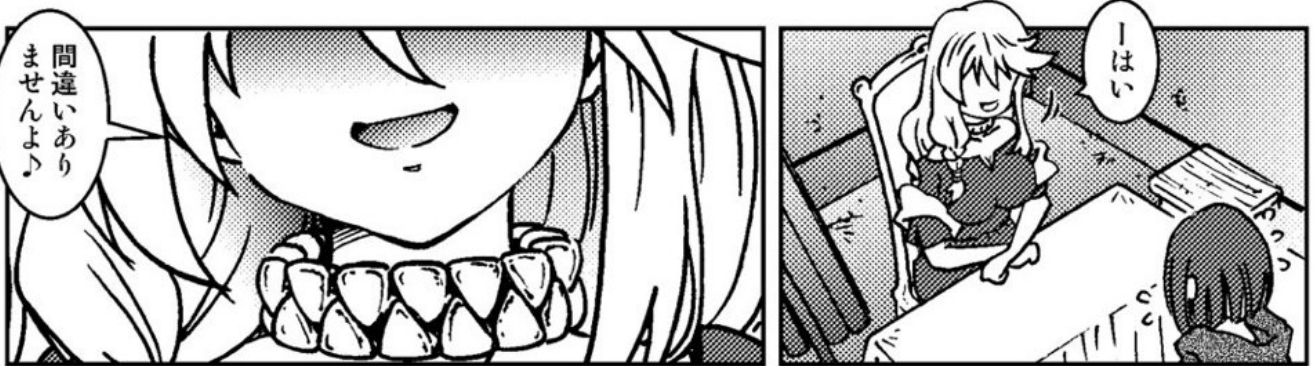
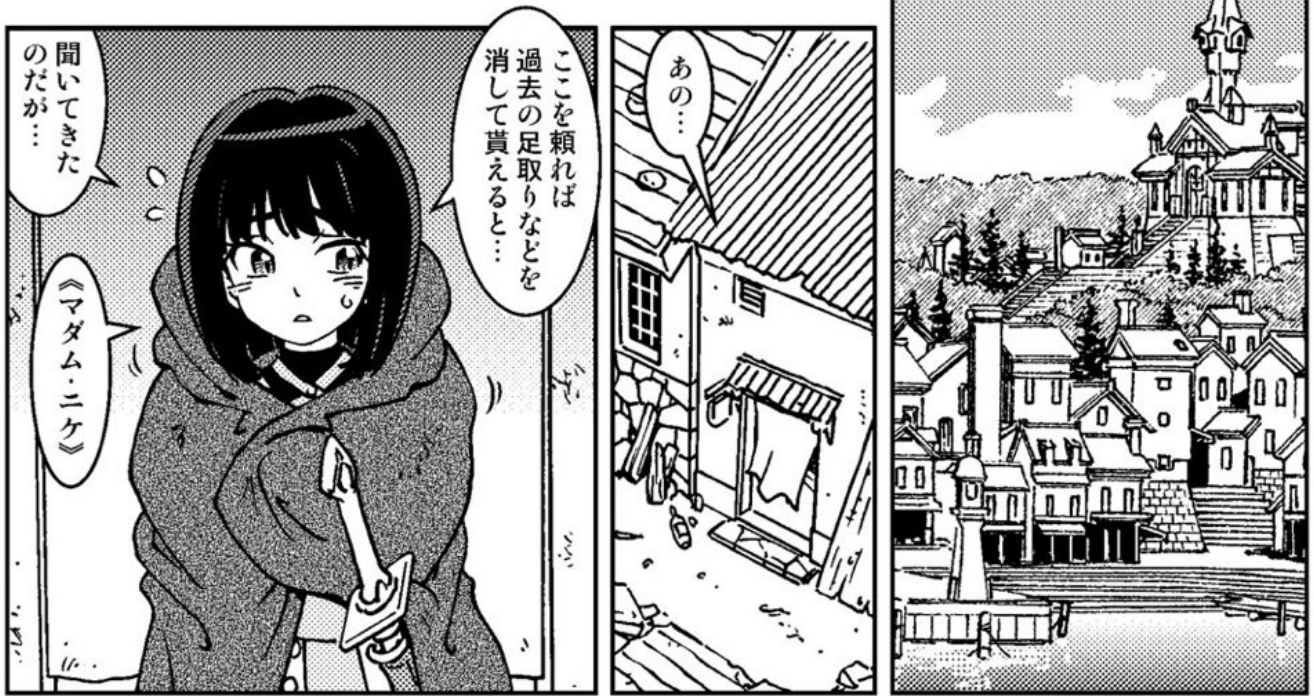


それは町造りに
関わることで…?

でもその説明
する前にー

はい♪

すー!



なるほどなるほど

思いもありませんでした

敢えて素行の悪かった者に住まわしたとき その素行は「反転」するの…

いえ 恐らくは私も町の外に住んでいれば同じ事を思いついたのかもしれない



「逆に魔女さまは 何故町の外に出てもブレずに居られたのですか？」

呪縛から逃れて逃げてしまう事も出来たのに

ふふっ♡

これですよ♡



この町で自我の幾つかを保てるこの魔導器は逆に外に出たとき

「反転」してる自我の状態も保持してくれる

「ただ この形では 余りに目立ちすぎるから

はぁん♡

あ♡

そう…ピアスみたいなものに改良した方がいいかも♡



しかしその後まもなく旅の日々を終わらせ

私は普通の家庭に収まり現在に至る

とはいえあの頃装着した魔導器のピアスは身につけたままであるから

あの町での濃密で最高なセックス三昧を忘れたことはないし

町長さんのおちんちんは今でも最高の味わいだったと恋しく思い返す

ええと…大丈夫？

俺に何か出来ることあるかな？

…ある

ではどうやってあの町に戻りたい衝動を抑えて居られるのか？

むわぁ



あの町で味わった
おちんちんの記憶を

魔法でこの人の
おちんちんに移して
いつでも味わえる
ようにする…♥

まあそれが
現在の夫

なのすけエン

ともあれ かつて都市国家を
ひとつ丸ごと衰退させたレベルの
呪術結界になんてずっと接してたら
先々何が起きるかわかりませんし

皆さんも近づかないか
すぐに逃げることを
お勧めしておきます

ところで 現在の私は
バックから突かれるのが
一番好きなのですが

これはあの町長さんの
仕込みではありません

夫に出会う直前まで私は
呪い緩和のピアスの副作用の
異常な性欲に囚われて

他の国や街でも
数えきれない数の
おちんちんに
可愛がってもらい
ましたが

色々試行錯誤した結果

「誰ともしれない人の
おちんちんに都合よく
生挿入・膣内射精される」

という屈辱感と
背徳感の相乗に

最も興奮出来るという
解答に至りました♥

あ…でも家庭に入り
夫と娘を得た今では

誰とでも
セックスは
してません
からね？

未練が全く無いかと言えば
…嘘にはなりますけれど♥

ふふっ♥

あ♥

あ あ



冒険譚には記せません
でしたけどね♥

とまあこんな
内容は当然



「よく戻ってきてくれました」

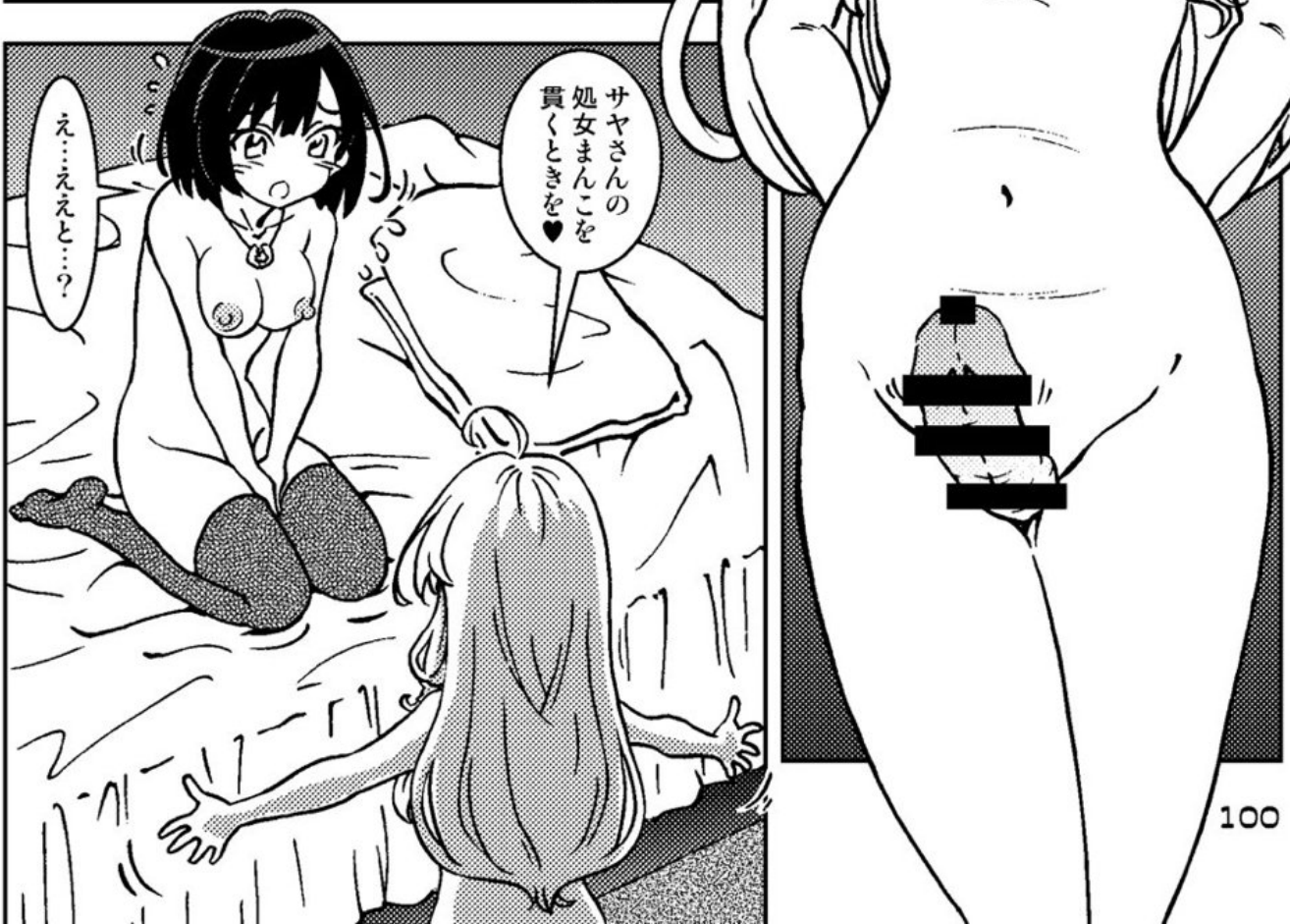


「サヤさん」

やはりあなたなら心を縛る魔導器の助けを借りる必要はありませんでしたね

私は待ちわびていましたよ

この日のために魔法で造った生体デイルドで



サヤさんの処女まんこを貫くときを♥

え…ええと…?



やっぱりやめましょう
イレイナさん…

こういうのって
やっぱり何か変…
ていうか？

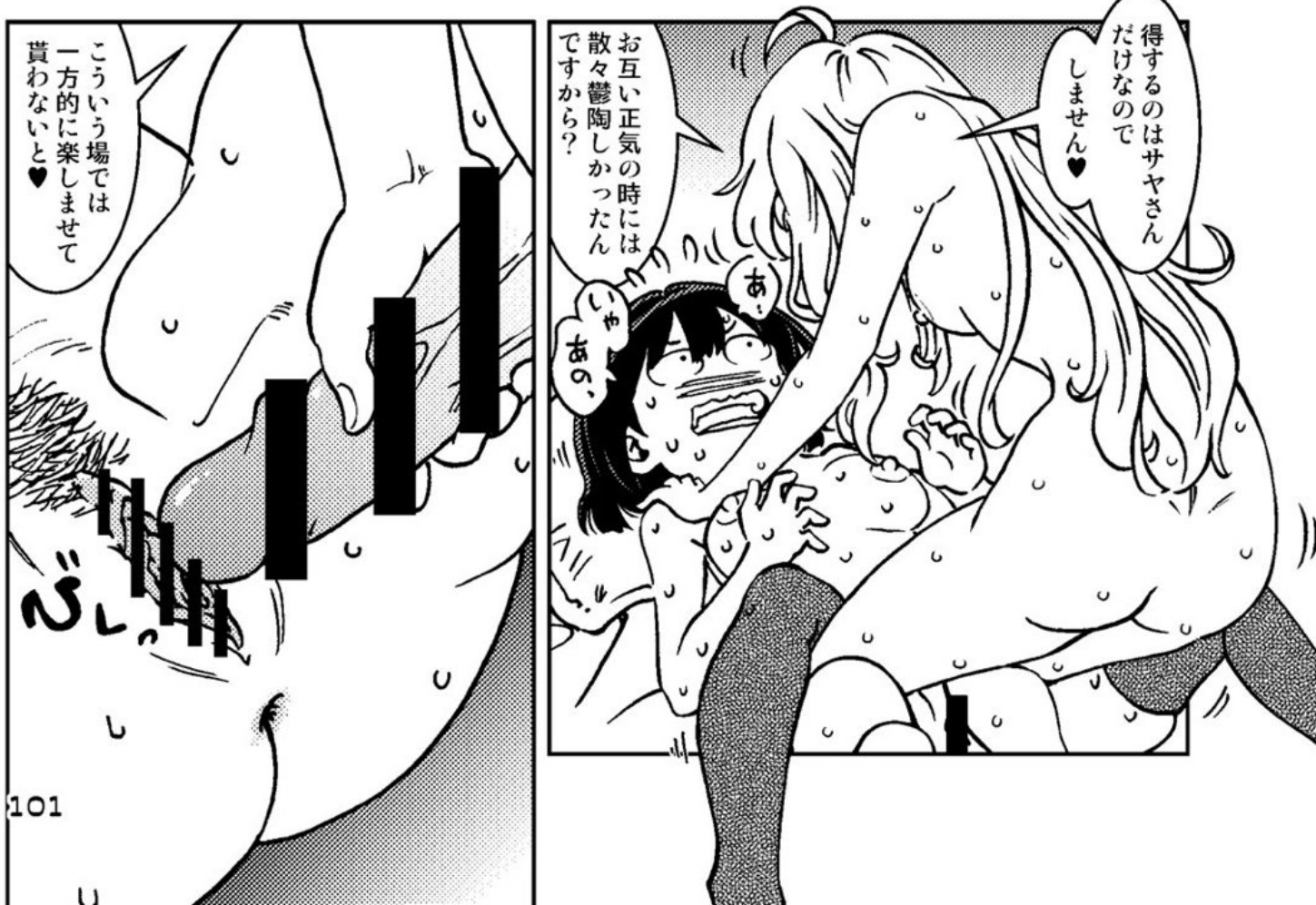
あーもう
うるさいですね



あんまり抵抗する
ならクリトリスか
乳首にピアス刺して

元々の性分少し
思い出させてあげても
いいんですよ？

ただ そう
ただだけじゃ



得するのはサヤさん
だけなので
しません♥

お互い正気の時には
散々鬱陶しかったん
ですから？

こういう場では
一方的に楽しませて
貰わないと♥



あー...これは
かなり...

ディルドに合わせて
拡張した...
クリトリスの
感覚にすっかり
伝わって...♡

サヤさんの
膣内...
イイ...
ですね♡



止まりま...せん...♡

腰...動き...♡

これ...♡



ご免なさいね...
サヤさん...♡

私だけ...すぐに
イッて...
しまいました♡

はぁ

はぁ

はぁ

ガク

ガク

ガク

ガク

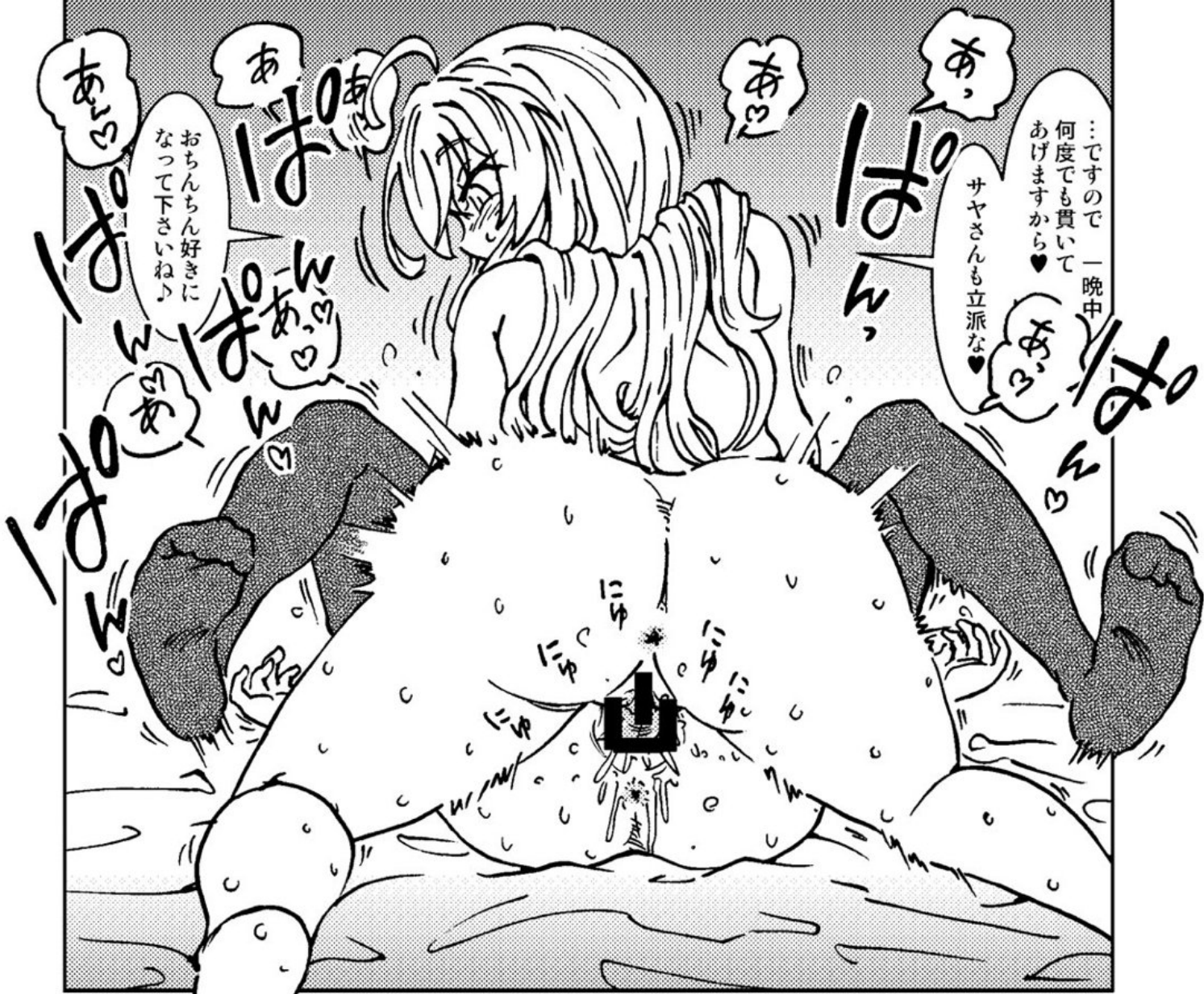
たふ...

たふ...

でも...安心して
下さ...♡

本物の...おちんちん
みたいな...射精感
は無い代わりに...

それで終わったりせず...
すぐに二回戦三回戦とっ...
続けられそうです♪



…ですので一晩中
何度でも貫いて
あげますから♡

サヤさんも立派な♡

おちんちん好きに
なっぺ下さいね♪

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡



でもやはり私は貴く
よりは貫かれる方が
圧倒的に

性に合ってるなど
再認識しました
ので一刻も早く

サヤさんを
イ力せて♪

町長さんの
おちんちんに逢いに
行こうと思ひます♡



そうして日々
町長さんとの
信頼を重ねた
私はついに

念願の大切な日
を迎えることに
なりました♪



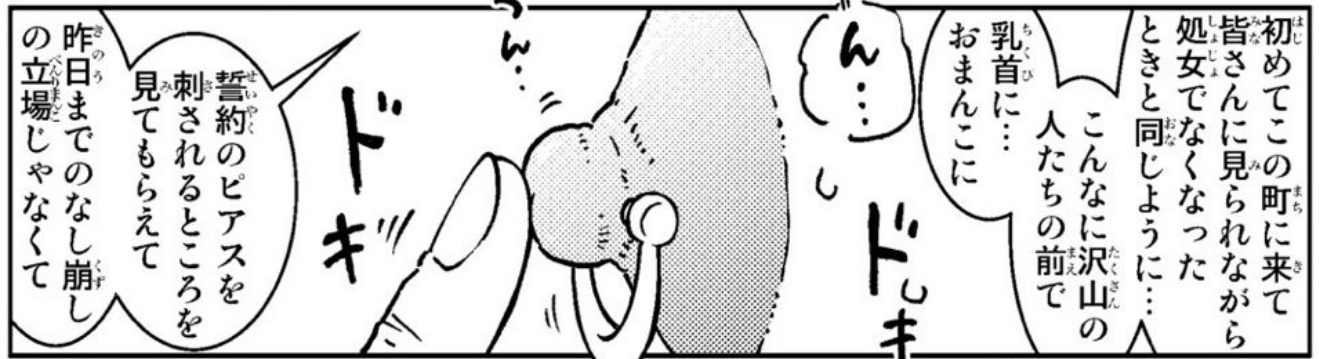
どうだい？
イレイナ

はい

皆さんの祝福の
言葉に今すぐに
でも一度イッて
しまいたいので…

最高の気分です♡

本気
まっし
すげー



初めてこの町に来て
皆さんに見られながら
処女でなくなつた
ときと同じように…
こんなに沢山の
人たちの前で
乳首に…
おまんこに

ドキ

誓約のピアスを
刺されるところを
見てもらえて

昨日までのなし崩し
の立場じゃなくて



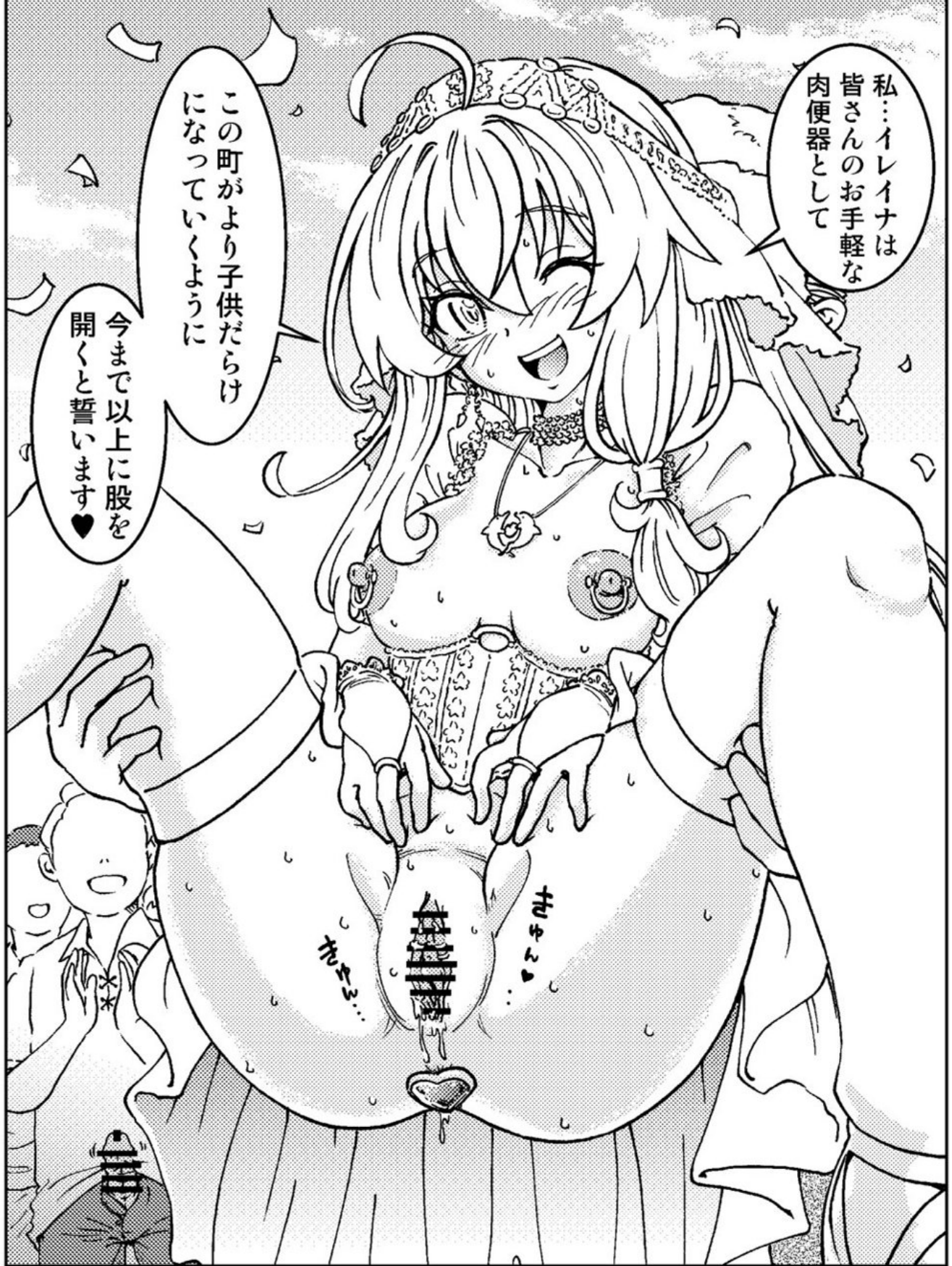
今日
晴れて

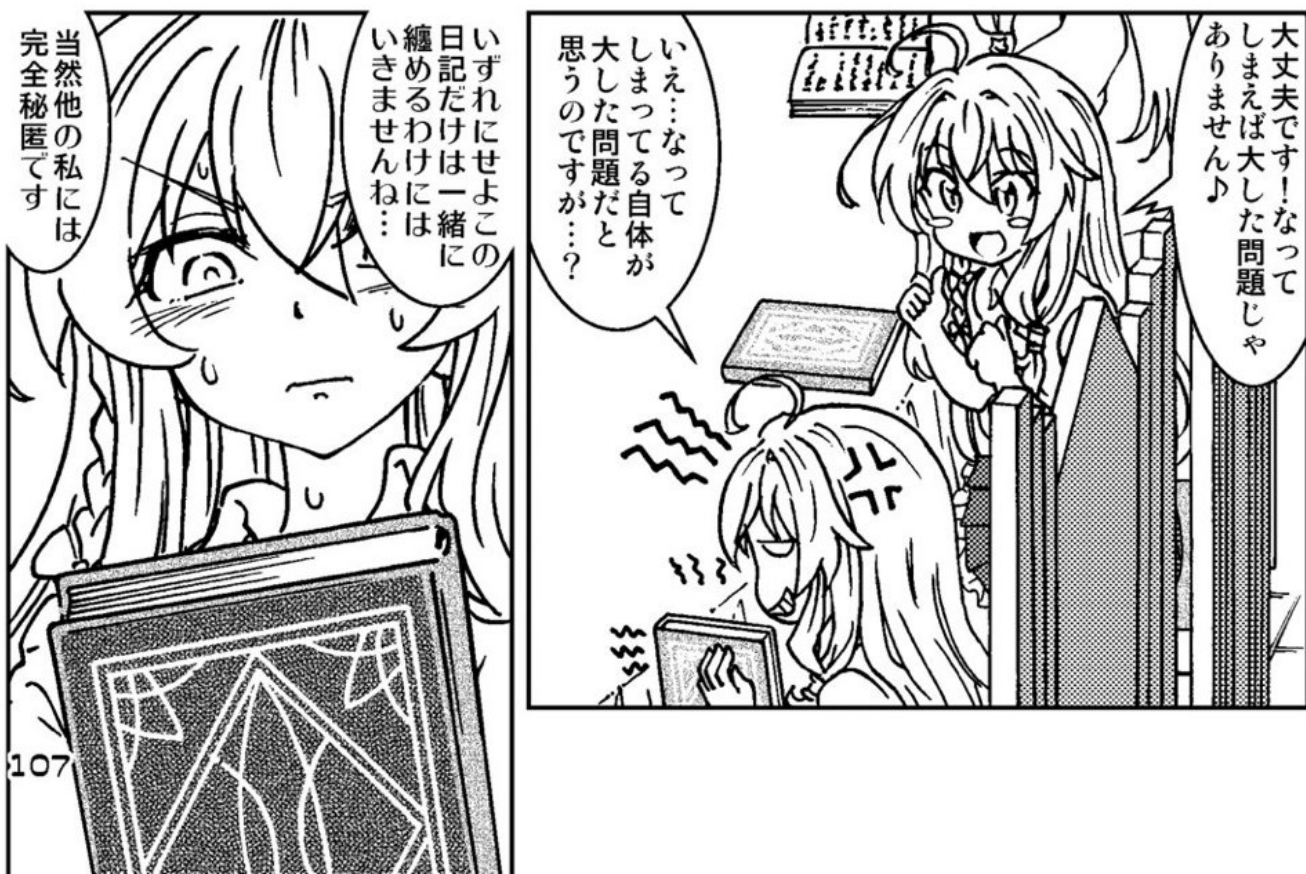
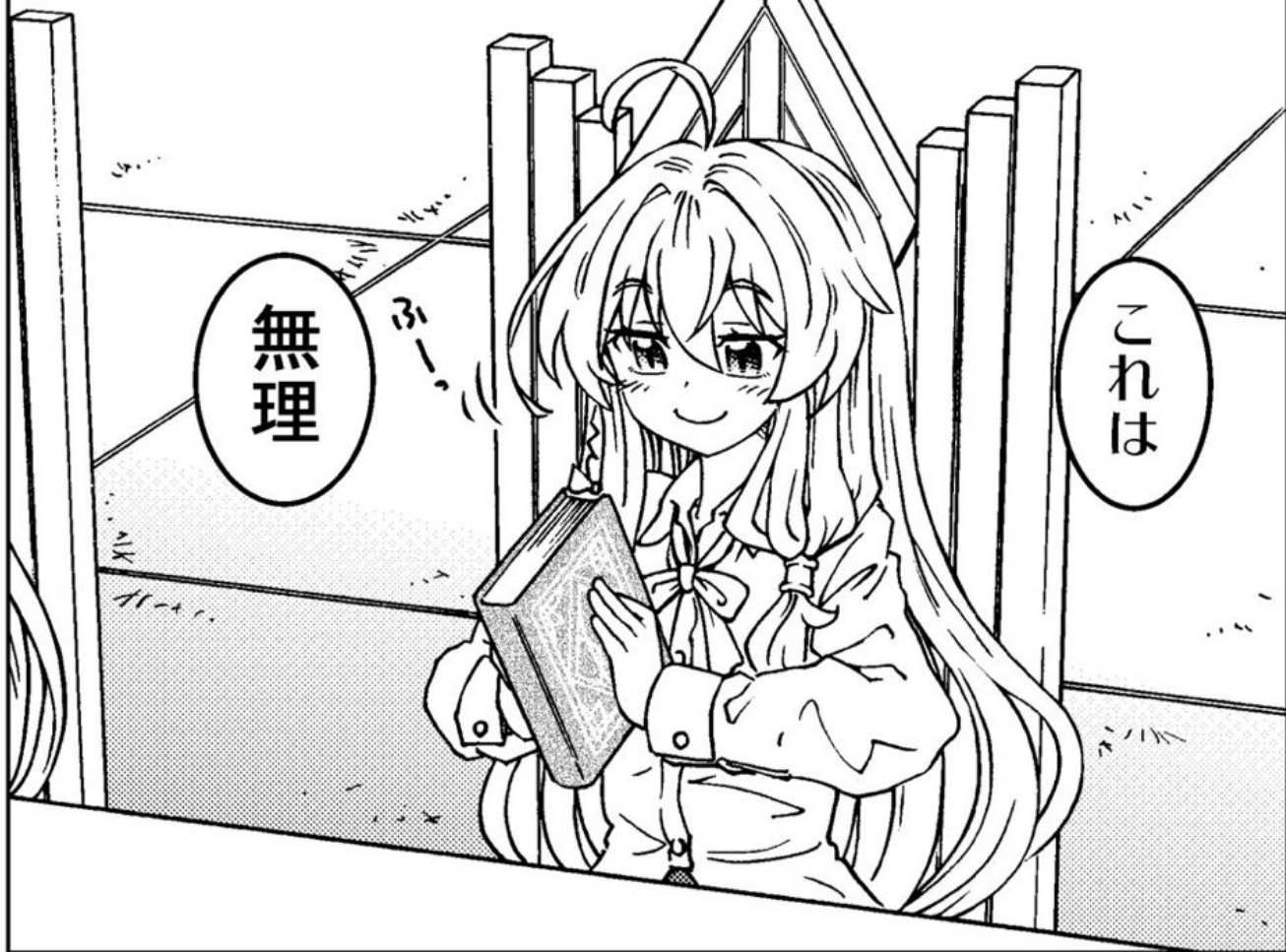
町長さんの
花嫁となり
正式に…この町の
花嫁となれました

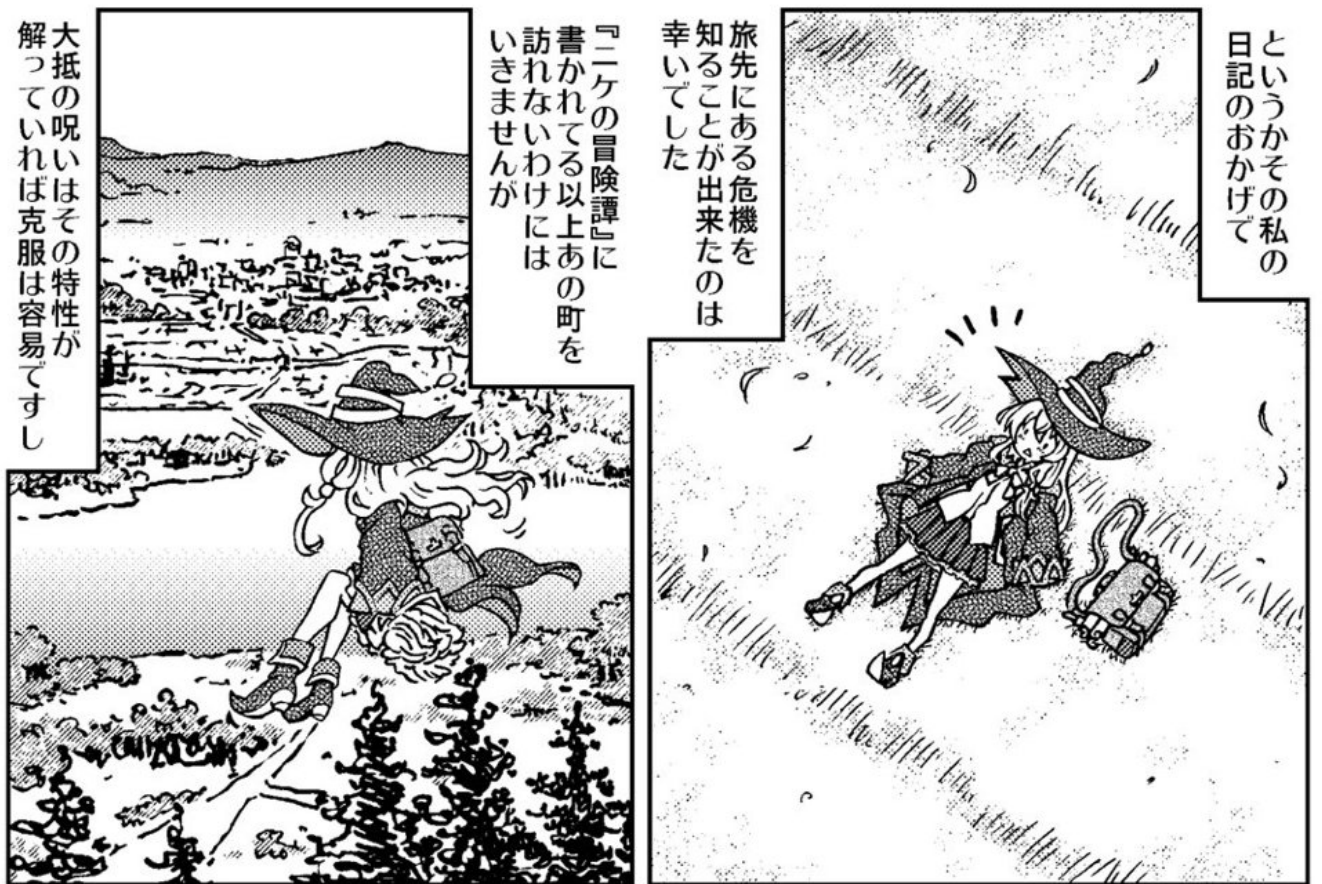


そう自覚しただけで
既に受け入れ準備万端な
この卑しいおまんこは

町の備品と
しての自覚も
十分です♡







『ニケの冒険譚』に書かれてる以上あの町を訪れないわけにはいきませんが

旅先にある危機を知ることが出来たのは幸いでした

というかその私の日記のおかげで

立ち寄ったという
形だけ残したら

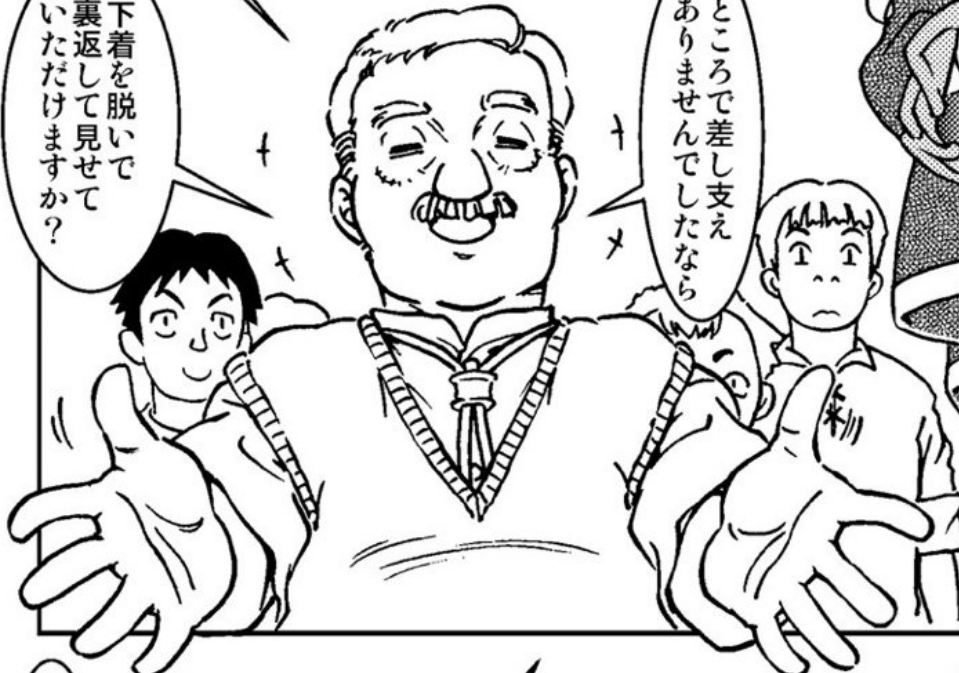
早々に立ち去る
ことにしましょう

一ようこそ魔女さま
生命の輝きに
溢れたこの町へ



ところで差し支え
ありませんでしたなら

下着を脱いで
裏返して見せて
いただけますか？



すでに事情を
知ってる私には

はい

そんな呪いは無効
だというのに…

構いませんよ
ただ…



ええ…？
いきなりこんな
町なかでですか

えろい私の日記
よりも露骨ですね…

引くわー



もも
もも

わざわざ乗り込んで来たばかりに公衆の面前で全裸を晒し

流れのままに処女を喪失しようとしている魔法使いの少女がいます

その美しくも愚かな魔女は誰か！



ドキ...



ドキ

そう

ドキ

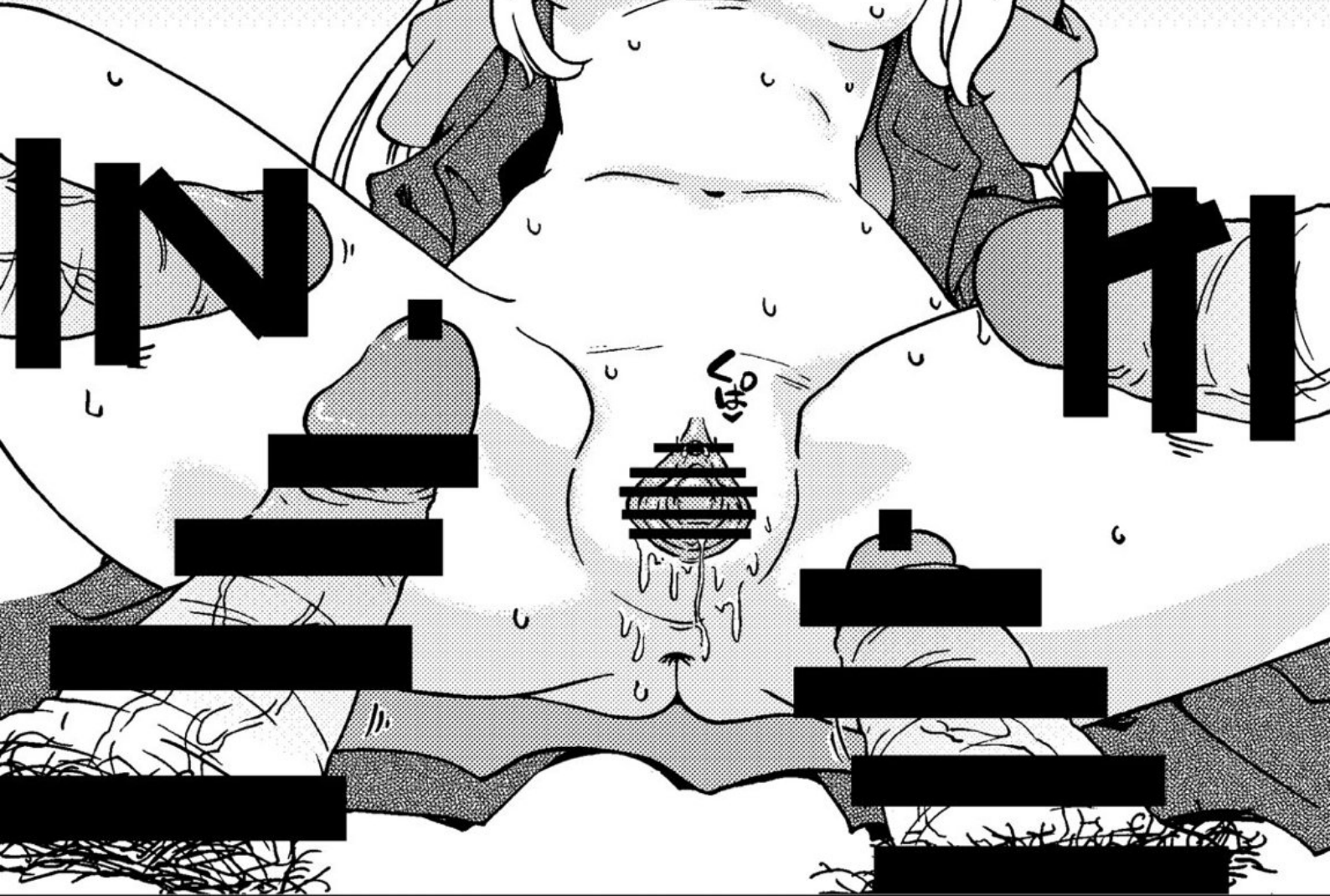
え...
ドキ
ドキ

私です♡

ドキ

ドキ

ドキ



あとがき

おはようございます。まだ子です。
今回は魔女旅H本の初期のエピソード
3本を束ねての総集編でお目
にかかっております。

紙の本での内容に数ページ描き足して、
今シリーズの【えろい感じの私】はこの町での
扱われ方を完全に受け入れたことで
彼女の旅はここで区切りがついたかに見えます。

が、
そこはそれ、

今作もう一人の自称主人公のイレイナこと
【用心深い私】はこの町の
罠に落ちたばかりですし、他にも
ありとあらゆるありふれた
《ちょっとえろい事に貧欲なだけの私たち》
の旅は当たり前が続いているわけですし、
また別の時空の旅でのえろい事件
に巻き込まれいくのでしょうか。

みなさんに飽きられてなければまた、
その辺りでお目にかかる
ことになるような気がしています。

…ところで、アニメの二期は
いつ告知されるんです？

刊行:2023年9月1日
執筆者:まだ子(まだ子屋)
twitter:@madacoya_pr
電子書籍版

※本書の18歳未満の閲覧・無断転載・転売・無断翻訳等禁止いたします※

本書を無断で転載アップロードすることは犯罪に当たります。
10年以下の懲役または1000万円以下の罰金、もしくはその両方が科せられることもあります。
また一般ユーザーにおかれましても、不正にアップロードされたものをダウンロードされた
場合に、著作権法違反として刑事・民事双方から責任を問われることがあります。